

昭和62年度

業務報告書

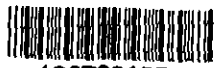
昭和63年7月

国際協力事業団
東京国際研修センター

國際協力事業団

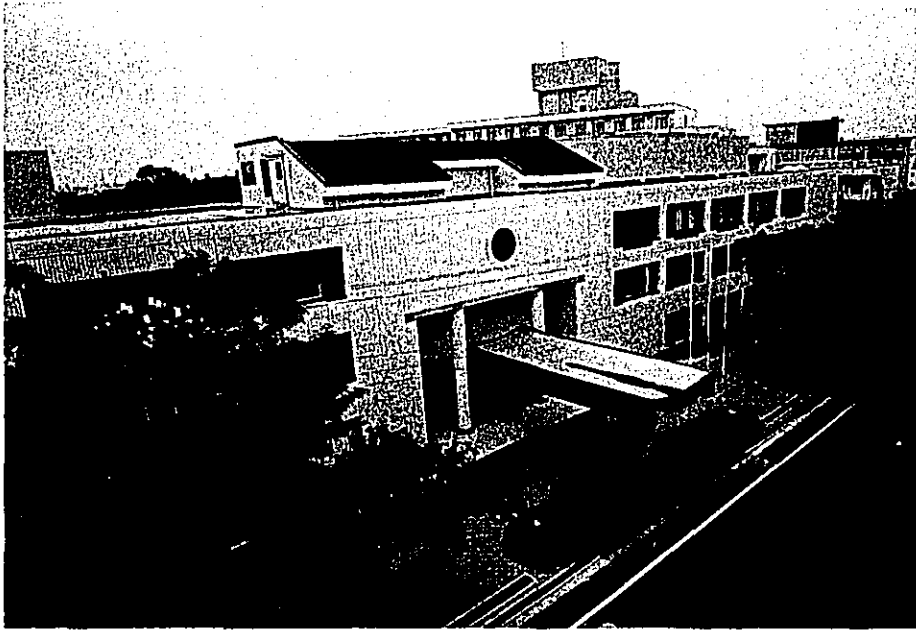
18182

JICA LIBRARY



1067991[8]

18182



管 理 棟



宿 泊 棟

はじめに

東京国際研修センターは国際協力事業団が日本国内に設置運営している10ヶ所の研修センターの一つで、昭和60年6月に開所し機能的な研修施設と461名収容出来る最新の宿泊施設を備えており、その周辺は豊かな緑と閑静に恵まれ、我が国が開発途上国の国造りのための人材養成と友好親善を通じて、世界の平和と進歩に貢献し、誇ることのできる施設の一つであります。

当センターの主要業務として海外研修員のための宿泊施設の提供及び技術研修並に日本語研修の実施などがありますが、この他に来日直後の研修員に対して、日本での生活上の心得などを説明するブリーフィングや日本の文化、教育、経済発展など日本を正しく理解するためのオリエンテーションの実施や月刊、“TIC”情報誌の発行を行なうとともに研修員が滞在中健康で快適に過ごせるよう各種レクリエーションや健康管理等の面でも特に配慮しています。

今后益々増大する研修員の受入に応えて、更に業務の向上を図るべく一層の努力を続けたいと思います。

ここに当センターの昭和62年度の業務実績をとりまとめました。これを通じて当研修センターに対するご理解を更に深めて頂くとともに、今後とも一層のご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

昭和63年 8 月

東京国際研修センター
所長 杉山亭造



西原町会祭礼
62年9月23日



餅付き大会
62年12月30日



折り紙パーティー（於：渋谷区消費者センター）

63年2月6日



ディスコ・パーティー

63年3月18日

目 次

1. 東京国際研修センター設立経緯および役割	1
2. 施設の概要	1
○所在地 ○建物規模 ○主要施設	
3. 組 織	3
4. 昭和62年度業務実績	4
(1) 宿泊および施設の実績表	4
(イ) 宿泊施設の利用	4
<資料> 月別利用実績表	4
センターを主なる宿泊施設とした集団(特設)コース一覧表	5
地域別、国別新規入館者一覧表	6
(ロ) 教室の利用	8
<資料> 月別利用実績表	8
センターにおいて実施(一週間以上)した研修コース一覧表	9
(ハ) 建物等の管理委託	10
(2) 主なる便宜供与	11
(3) プリーフィング	12
(4) オリエンテーション	15
(5) 健康管理	28
(6) 日本語研修	31

(7) 日本語教材開発	57
(8) レクリエーション	62
<資料> 62年度厚生活動実績	62
(イ) スポーツ	64
(ロ) 文化	65
(ハ) 娯楽	68
(ニ) 懇親会、交流会	70
(ホ) ライブラリー	72
(ハ) TIC Monthlyの発行	72
(ト) 外部団体の招待等	73
(9) 昭和62年度収支予算実績	74

1. 東京国際研修センター設立及び役割

東京国際研修センター（TIC）は昭和60年4月に国際協力事業団が全国に設置している10番目の国際研修センターとして設立された。

本センターは最新の設備と最大の規模をほこり、年間100ヵ国以上5,000人に近い研修員のプリーフィング、オリエンテーションを行っている。同時に日本語研修、技術研修を実施するための研修施設として、またリクリエーション業務等を行なう娯楽施設として、そしてこれらの研修員が快適な生活をおくる宿泊施設として研修員受入事業の実施のための拠点となり、開発途上国の人材養成とわが国への理解を得るという使命を担い国際協力の重責をはたしていこうとするものである。

2. 施設の概要

○所在地

住所 〒151 東京都渋谷区西原2丁目49-5
電話 (03) 485-7051
F A X (03) 485-7904

○建物規模

構造 本館 鉄筋コンクリート造4階建
(管理・研修棟) (5,766 m²)
宿泊棟 鉄骨鉄筋コンクリート造10階建
(12,490 m²)
講堂 鉄筋コンクリート造
(554 m²)

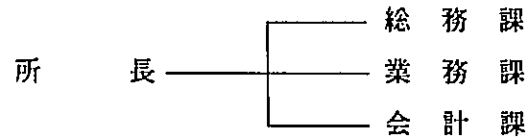
敷地面積 10,013 m²
建築面積 4,027 m²
延床面積 18,868 m²
屋内駐車場 (58 m²)

○主要施設

- 〔本館〕 (管理・研修棟)
- 1階 ラウンジ、食堂、喫茶コーナー、オーディオルーム (2室)、
ビデオルーム (2室)、売店
- 2階 フロント、ロビー、ブリーフィングルーム、研修監理員控室、
日本語講師控室、日本語教材開発室、会議室 (2室)
- 3階 所長室、事務室、応接室 (2室)、図書資料室、セミナールーム
(1～7) (16)
- 4階 オリエンテーションルーム、セミナールーム (8～15) (17～18)、
講師控室
- 〔講堂〕
- 1階 映写施設付設
- 〔宿泊棟〕
- 1～10階 宿泊室 (441室、461人収容)
全室バス・トイレ・電話付 (内線)
各階に洗濯室
シングル 421室 (15.9㎡/1室)
ツイン 20室 (31.3㎡/1室)
- 3、5階 タイプ室 (3室)
- 4階 診療室
- 〔庭園〕

3. 組 織

1. 組 織 図



2. 事 務 分 掌

〔総 務 課〕 宿泊計画・管理
施設の管理・運営
庶 務

〔業 務 課〕 研修員に対するブリーフィング、オリエンテーションおよび日本語研修の実施
研修員の生活上の相談・指導および福利厚生

〔会 計 課〕 収支予算、決算
現金等の出納

※ オリエンテーション、日本語研修および建物等の管理を実施するため、下記の外部組織がセンター内に設置されている。

- ・ 社団法人 国際交流サービス協会オリエンテーション準備室
- ・ 財団法人 国際協力サービスセンター日本語研修室
- ・ TBSビル管理会社 東京国際研修センター事業所

4. 昭和62年度業務実績

(1) 宿泊および施設の管理

(イ) 宿泊施設の利用

昭和62年度における在館利用率は東京インターナショナルセンター（63年1月より宿泊利用）設立の影響が多少あり昭和60年度（80.3%）は上回ったものの昭和61年度（87.0%）よりは減となった。昭和62年度（83.2%）

月別利用実績表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延利用日	8,075	11,136	12,320	13,265	12,640	12,315	12,879	11,785	8,784
利用率(%)	61.0	81.4	93.1	97.0	92.4	93.1	94.2	89.1	64.3
1月	2月	3月	計						
8,699	10,800	11,748	134,446						
63.6	84.8	85.9	83.2						

センターを主たる宿泊施設とした集団（特設）コース一覧表（昭和62年度）

No.	コース名	No.	コース名
1	リモートセンシング	54	がん対策
2	建築技術	55	腎不全対策
3	国際通信業務	56	空港セミナー
4	衛星通信技術	57	航路標識
5	港湾工学	58	下水道技術
6	水路測量	59	救急・救助技術
7	地方行政	60	罂粟薬犯罪取締セミナー
8	中国経営管理	61	税関行政
9	国貿易振興セミナーC	62	電波監視
10	海運経営実務	63	環境技術（水質保全）
11	結核対策指導者	64	一般統計
12	鉄鋼材試験検査技術	65	労働安全衛生行政セミナー
13	火力発電	66	ハイウェーセミナー
14	水力発電	67	開発エコノミスト（一般）
15	ADP（自動データ処理）	68	障害者リハビリ指導者
16	プラントメンテナンス	69	船員教育行政
17	沿岸鉱物資源探査	70	総合都市交通施設計画
18	国家行政	71	鉄道電化
19	デジタル交換技術（基本）	72	省エネルギー
20	建設機械整備	73	救難防災
21	上水道施設	74	土質及び基礎工学
22	都市交通セミナー	75	住宅建設
23	家畜人工授精	76	郵便貯金幹部セミナー
24	消防行政	77	国上級国家行政セミナー
25	廃棄物処理	78	データ通信技術
26	造船経営管理	79	海図作成
27	生活改善普及	80	都市整備
28	家畜衛生研究	81	医療放射線技術
29	工業所有権セミナー	82	エビ増養殖技術
30	測量技術	83	放送幹部セミナー
31	計量標準	84	船舶技術
32	精神薄弱福祉	85	鉄道信号
33	農地水資源開発	86	コンテナ埠頭整備計画
34	工業標準化	87	貿易振興セミナー（A）
35	受精卵移植技術	88	原子力発電
36	家族計画組織活動	89	小児専門医療
37	中小工業開発セミナー	90	行政情報システム
38	犯罪防正	91	教育TV番組（上級）
39	デジタル伝送技術（基本）	92	TV放送技術（上級）
40	森林造成技術者	93	環境行政
41	ラジオ放送技術	94	原子力基礎実験
42	教育テレビジョン番組基礎	95	電気製品検査技術
43	テレビジョン放送技術基礎	96	自動車技術行政
44	農林統計	97	寄生虫予防指導者セミナー
45	デジタル伝送技術（応用）	98	空港管理・保安セミナー
46	無線通信技術	99	包装技術
47	国国際協力事業団紹介セミナー	100	経済開発セミナー
48	農業普及	101	研究開発技術
49	都市計画	102	医療機器保守管理技術
50	婦人関係行政セミナー	103	光ファイバー通信
51	橋梁工学	104	原子力安全規制行政
52	シンガポール生産性向上	105	米生産（仏）
53	鉄道車両		

(d) 教室の利用

教室の利用は主として日本語研修および技術研修に分かれ、原則として日本語研修用8技術研修用として10の教室を夫々割りふっている。研修員受入のピーク時の9月から11月にかけては技術研修の一部のものはセンター教室の利用が困難となった。しかし上記期間を除いてはおおむね計画通り利用され、整備された教室と充実された視聴覚機器の効果的な利用をもって研修内容の向上に大きく貢献することとなった。

月別利用実績表

区 分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
延利用可能数	378	342	396	414	378	360	396	342	342	324	360	396	4,428	
延 利 用 室 数 実 績	セミナー	18	84	78	103	140	173	186	160	61	65	98	63	1,229
	日本語	160	139	159	134	155	158	154	120	120	126	153	211	1,789
	その他	8	8	5	12	10	10	2	2	5	4	1	14	81
	計	186	231	242	249	305	341	342	282	186	195	252	288	3,099
利用率(%)	49.2	67.5	61.1	60.1	80.7	94.7	86.4	82.5	54.4	60.2	70.0	72.7	70.0	

- 備 考
1. 教室数は18室。
 2. 日本語(夜間)は実績に含めず。
 3. 月別の延利用室数の算出は18室。
当該月の日数(土、日、祭日は除く。)

TICにおいてセミナー実施（一週間以上）した研修コース一覧表

No	コース名	No	コース名
1	リモートセンシング	32	環境技術水質保全
2	建築技術	33	都市計画
3	港湾工学	34	労働安全衛生行政
4	貿易振興セミナー	35	タイ水道技術訓練
5	海運経営実務	36	上級国家行政
6	国家行政	37	鉄道線路保守
7	都市交通	38	国土開発
8	工業所有権	39	郵便貯金幹部セミナー
9	廃棄物処理	40	救難防止
10	建築技術	41	船員教育行政
11	中国経営管理	42	鉄道電化
12	消防行政	43	省エネルギー
13	工業標準化	44	住宅建設
14	建設機械整備	45	同窓会セミナー
15	精神薄弱福祉	46	国際捜査セミナー
16	河川及びダム工学	47	国際捜査セミナー生活指導
17	森林造成技術者	48	都市整備
18	農業普及関係	49	コンテナ埠頭整備計画
19	電波監視	50	中国海南島総合開発計画
20	橋梁工学	51	鉄道信号
21	航路標識	52	貿易振興セミナー A
22	麻薬犯罪取締	53	原子力発電
23	鉄道車輛	54	環境行政
24	婦人行政	55	行政情報システム
25	農地水資源開発	56	空港管理保安セミナー
26	空港セミナー	57	マレーシア東方政策
27	下水道技術コース	58	自動車技術行政
28	輸出入食品検査技術	59	経済開発セミナー
29	工業所有権制度	60	香港政庁会務員研修
30	農林統計コース	61	教育テレビ番組
31	シンガポール生産性向上		

(ハ) 建物等の管理委託

フロント、電話交換、電気機械設備、守衛、清掃および食堂各部門の管理、運營業務については外部の専門ビル管理会社に委託し、センター職員の指導のもと研修員のより良い生活環境の維持と安全を心かけた結果円滑に遂行された。

特に食堂部門は常時70ヶ国以上400人内外の研修員が在館することを念頭におき品種も多く品質にも留意し問題なく運営された。

部門別委託一覧表

部門	契約人数	配置		備考
		昼間	宿直	
統括	2	2		総括主任(1)
フロント	18	10	3	主任(1)、副主任(1)
電話交換	3	3		8:00~21:00 シフト制 日・祭日はフロントにおいて実施
電機	8	5	2	電気主任(1)、機械主任(1)
守衛	12	6	4	守衛長(1)、副守衛長(1)
清掃	契約人数なし	(40余名)		主任(1)、副主任(1) 8:00~17:00 シフト制
食堂	同上	(30余名)		主任(1)、料理長(1)、ホール主任(1) 8:00~21:00 シフト制

(2) 主たる便宜供与

No	項 目	月 日	来 訪 者	対 応
1	在京アフリカ各国大使	4月2日	セネガル大使他	施設視察 昼食会 研修員と懇談
2	アフリカ民族会議議長	4月21日	オリバー・クンボ議長他	施設視察 研修員と懇談
3	在京中南米各国大使	5月19日	アルゼンチン大使他	施設視察 昼食会 研修員と懇談
4	国際交流基金との懇親会	5月8日	佐藤理事長他	施設視察 昼食会
5	大蔵省主計局係官	5月27日	小野係長他	施設視察 事業概要説明
6	ナイジェリア代理大使	5月28日	ナイジェリア代理大使	施設視察 事業概要説明
7	外務省新入職員	5月30日	外務省新入職員66名	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
8	ウガンダ外務大臣	6月1日	イブラハム外務大臣	施設視察 研修員と懇談
9	メキシコ高級研修員	6月19日	グティエレ外務省技協局長	施設視察
10	レソト農業大臣	6月23日	ホロロ農業大臣他	施設視察 事業概要説明
11	ニジェール高級研修員	6月24日	鉱山資源公社総裁	施設視察 事業概要説明
12	北九州市議会議員	7月8日	国際交流特別委員9名他	施設視察 事業概要説明
13	在外公館広報担当官	7月13日	在外大使館広報官13名	施設視察 事業概要説明
14	懸賞作文入選高校生	7月21日	高校生12名他	施設視察 研修員と懇談
15	ケニヤ大蔵大臣	8月6日	サイトチ大臣他	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
16	群馬県ユネスコ連絡協議会	8月21日	会員170名	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
17	タイ王国国王秘書官長	8月28日	モム秘書官長他	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
18	外務省研修職員	9月10日	吉中指導教官他	施設視察 事業概要説明
19	ザンビア首相	9月11日	ムソコトワネ首相他	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
20	JICA役員OB懇親会	9月21日	法眼顧問他	施設視察 懇親
21	タイDTEC局長	10月6日	ワンチャイ局長他	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
22	パキスタン、スター紙記者	10月6日	アンジョン記者	施設視察 研修員と懇談
23	ケニア高級研修員	10月7日	ニヨレ研修所長他	施設視察 事業概要説明
24	ホンジュラス外務次官	10月8日	カセレス外務次官他	施設視察 事業概要説明
25	WHO中国調査団	10月15日	リュウ団長他	施設視察 事業概要説明
26	フィリピン高級研修員	10月22日	カロリナNEDA補佐官他	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
27	ジョルダン高級研修員	10月27日	ファリス計画省次官他	施設視察 事業概要説明
28	群馬県大間々ユネスコ協会	10月28日	会員54名	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
29	都高校国際教育研究協議会	10月15日	指導教員生徒40名	研修員と懇談
30	クック群島外務次官	11月12日	アウキノ次官他	施設視察 事業概要説明
31	海外事務所現地補助員	11月17日	シリヤ事務所補助員他	施設視察 事業概要説明
32	セネガル計画協力省次官	11月26日	ハデイ次官他	施設視察 事業概要説明
33	群馬県佐次、伊勢崎地区教頭会	12月2日	一行9名	施設視察 事業概要説明
34	外務省赴任前研修職員	12月14日	吉内指導教官他9名	施設視察 事業概要説明
35	外務省赴任前研修職員	1月6日	中村指導教官他28名	事業概要説明 研修員と懇親昼食会
36	事業紹介ツアー	1月14日	家庭主婦一行33名	施設視察 事業概要説明
37	渋谷区役所職員	1月21日	施設管理職員30名	施設視察 事業概要説明
38	PNG人事大臣一行	1月27日	UTULA大臣他1名	施設視察 事業概要説明
39	北九州市職員	2月4日	寺田主査他1名	施設視察 事業概要説明
40	シリア企画庁次官一行	2月17日	HUSSEIN次官他1名	施設視察 事業概要説明
41	南アDr.モトクナ	2月18日	Dr.モトクナ他1名	施設視察 事業概要説明
42	自民党政調会調査役一行	2月22日	久保調査役他2名	施設視察 事業概要説明
43	アフリカ青年招へい者一行	2月24日	MASATA マラウイ外務次官他3名	施設視察 事業概要説明
44	事業紹介ツアー、一行	2月29日	文京七中PTA30名	施設視察 事業概要説明 研修員と昼食
45	ルワンダ大統領一行	3月23日	ジュベル大統領他6名	施設視察 事業概要説明 研修員と懇談
46	モロッコ国際協力局長	3月23日	ハッドウイ局長	施設視察 事業概要説明
47	エジプト人事院総裁	3月28日	カゼム人事院総裁	施設視察 事業概要説明
48	ラオス、ブーン副首相一行	3月25日	ブーン副首相他6名	施設視察

(3) ブリーフィング

研修員が到着した翌日、日常生活上及び研修上必要な基礎的な知識を与えるため次のプログラムにより、(財)国際協力サービス・センターの協力を得て実施した。



ブリーフィング実施時間および順序

No	時間帯	内 容	実 施 方 法	所要時間	備 考	
1	10:00~	登録手続き	ブリーフィング担当者が指導	15分	①②③	
2	10:15~	「GUIDE TO JICA」	オートスライド上映	25分	④	
3	10:40~	「GUIDE TO TIC」	ビデオ上映	25分	⑤	
4	11:05~	「HOW TO PROTECT YOURSELF FROM FIRE AND EARTHQUAKE AT TIC AND OTHER SIMILAR FACILITIES」	ビデオ上映	20分	⑥	
5	11:25~	TIC館内施設案内	防災施設を中心にブリーフィング担当者が案内・説明	25分	⑦	
6	11:50~	質疑応答	2、3、4、5の補足説明	10分	⑧	
昼 食						
7	13:20~	資料等配布		10分	⑨	
8	13:30~	あいさつ	TIC所長	15分		
9	13:45~	ALLOWANCE および研修員受講についての補足説明と質疑応答	ブリーフィング担当者による口答説明	45分	⑩	
10	14:30~	「GUIDE TO LIFE IN JAPAN」	ビデオ上映	20分	⑪	
	14:50~	休 憩			10分	
11	15:00~	滞日生活についての補足説明(10の補足説明を含む)	ブリーフィング担当者による口答説明	30分	⑫⑬⑭	
12	15:30~	キャッシュカードの使用方法和諸手続きの説明および質疑応答	ブリーフィング担当者による口答説明	30分	⑮	
13	16:00~	キャッシュカードによる滞在費の引き出し	銀行における実地指導		⑯	

実施業務内容（備考欄の番号に符合する。）

- ① From of Registerの配布、記入指導および回収
 - ② 旅券有効期限の確認
 - ③ 査証有効期限の確認
 - ④ 医療カードの配布、写真添付および使用方法の説明
 - ⑤ 航空券の預かり、および航空代理店への引き渡し
 - ⑥ スライド「GUIDE TO JICA」の上映およびその補足説明
 - ⑦ ビデオ「GUIDE TO TIC」の上映およびその補足説明
 - ⑧ ビデオ「HOW TO PROTECT YOURSELF FROM FIRE AND EARTHQUAKE AT TIC AND OTHER SIMILAR FACILITIES」の上映およびその補足説明
 - ⑨ TIC館内施設案内
 - ⑩ 「KENSU-IN HAND BOOK」「Training in Japan」「Map of Tokyo」「Final Report用紙」「事業団のしおり」の配布
 - ⑪ 受入諸手当の内容および研修の趣旨についての補足説明、質疑応答
 - ⑫ ビデオ「GUIDE TO LIFE IN JAPAN」の上映およびその補足説明
 - ⑬ 滞日生活についての補足説明（事業団担当者、受入先、宿泊先、在日大使館の住所・電話番号、その他日常生活必要事項等）
 - ⑭ 銀行カードの配布と使用方法の説明（銀行における実地指導を含む）
 - ⑮ 会場の設営および全体の進行管理
 - ⑯ TICに対する連絡および報告
- なお、上記業務に必要な各種資料および様式は、TICが支給する。

その他の業務

- ① プリーフィング出席後の研修員のスケジュール確認・調整（メッセージシート
の点検を含む）
- ② 銀行カード発行遅延分への応答措置
- ③ 同上該当者への当座資金貸付調整（土曜日受講者への対応を含む）

- ④ “PAYMENT OF ALLOWANCE” と実際のスケジュールとの乖離チェックおよび担当者への連絡
- ⑤ 研修監理員配置のない研修員に対する対応
- ⑥ 同上該当者少額交通費の請求方法等の指導
- ⑦ 配布資料全般の在庫監理
- ⑧ コピー機使用を希望する研修員への諸手続き説明と操作方法の指導
- ⑨ 研修に係わる各種注意事項の伝達
- ⑩ 研修監理員との連絡・調整

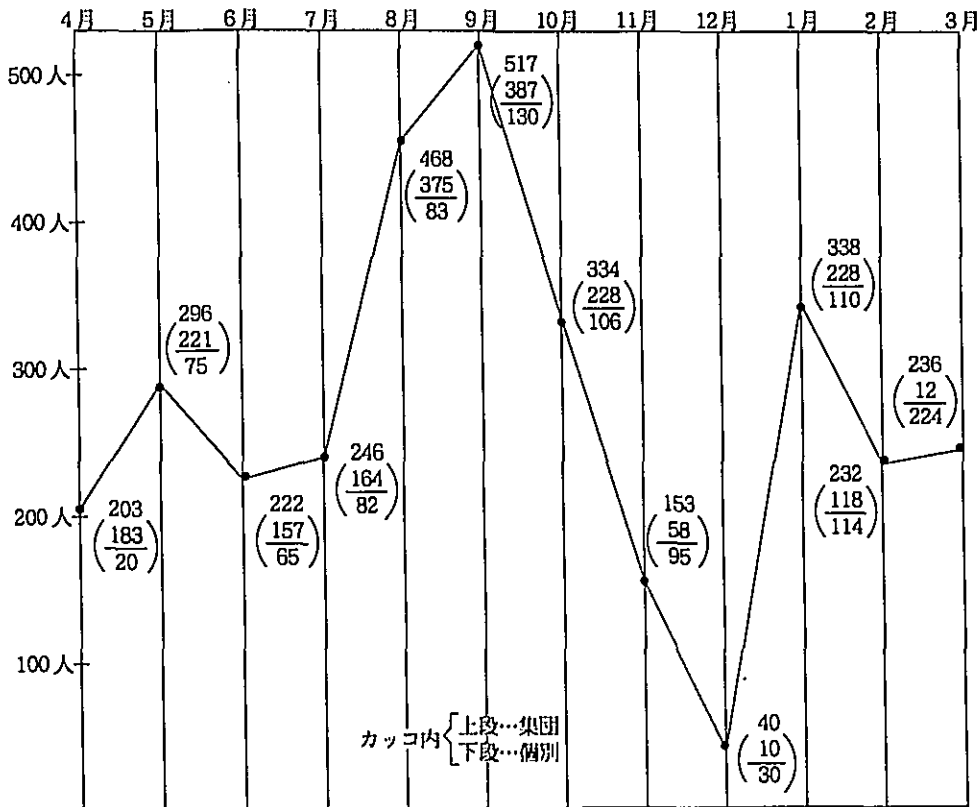
(土曜日) ブリーフィング実施時間および順序

No	時間帯	内 容	実 施 方 法	所要時間
1	10:00~	登録手続き	ブリーフィング担当者が指導	15分
2	10:15~	「GUIDE TO TIC」	ビデオ上映	25分
3	10:40~	「HOW TO PROTECT YOURSELF FROM FIRE AND EARTHQUAKE AT TIC AND OTHER SIMILAR FACILITIES」	ビデオ上映	20分
4	11:00~	「GUIDE TO LIFE IN JAPAN」	ビデオ上映	20分
5	11:20~	TIC館内施設案内	防災施設を中心にブリーフィング担当者が案内・説明	25分
6	11:45~	補足説明および質疑応答	2、3、4、5の補足説明	30分

本年度は昨年度作製した防災ビデオの上映及びTIC館内ツアーをプログラムに組み入れ、非常時における心構え、TIC施設の把握等の充実を図った。

本年度のブリーフィング受講者は3,285人（昨年度2,895人）にのぼり、うち集団コース研修員は2,142人、個別コース研修員は1,143人であった。月別受講者数の推移は別表の通りである。

月別ブリーフィング受講研修員の人数（実績と推移）



(4) オリエンテーション

ブリーフィングに引続き、研修員に対して日本事情等について基礎的な知識を与え、研修活動および滞日生活の円滑化を図るとともに、わが国に対する理解を促進させるため、(社)国際交流サービス協会の協力を得てオリエンテーション業務を実施した。

オリエンテーションは昭和60年10月より1サイクルを3日とし週2サイクル(①月～水 ②木～土)実施しており、1サイクルで完結することが望ましいが、どこからでも参加できることが当該オリエンテーションプログラムの利点である。

昭和62年度のオリエンテーション参加者数は2,568名(内個別研修員814名)であり、各回別参加者数は別紙の通りである。

各講義内容をより適確に理解せしめる一助として、本年度は「日本の教育」及び「日本の経済」の講義前に上映されるビデオ(英語版-JICA製作)の西語版

を各々製作し、購入済の各国語版とともに適宜貸出サービスを行うこととした。



なお、現在 TIC が所有するビデオの各国語版は次の通りである。

講義名	使用ビデオ	製作者名	各国語版
社会・風土	Japan - An Overview	インターナショナル映画社 外務省	英、仏、西、中、 インドネシア、アラビア
歴史・文化	The Scroll of Times	(株)桜映画社 国際教育情報センター	英、仏、西、中、 インドネシア、タイ
教育	An Introduction to Education in Japan	(株)ビスコ J I C A	※ 英、中、西 ※62年度 TIC で作成
経済	Path to Industrialization	(株)桜映画社 J I C A	※ 英、中、西 ※62年度 TIC で作成

講義及びビデオ上映はすべて英語で実施しているが、英語を十分に理解できない研修員（とくに個別、カウンターパート）相当数見受けられるため、講義については講義ノートの各国語版（英、西、仏、中）を作成し配布している。

これらの研修をして、より正確に日本事情を理解せしめ、ひいては技術研修効果を高めるためには、現在上映しているビデオを4ヶ国語で同時視聴できるように施設の整備を図ることも今後必要であろう。

オリエンテーションプログラム

日	時 間	内 容
第1日(月)	10:00~12:00	日本の社会・風土
	13:30~14:30	日本語(Ⅰ)
	14:45~16:45	日本の歴史・文化
第2日(火)	10:00~12:00	日本の教育
	13:30~14:30	日本語(Ⅱ)
	14:45~16:45	日本の経済
第3日(水)	9:00~13:00	都内見学
第1日(木)	月曜日のプログラムを実施する。	
第2日(金)	火曜日のプログラムを実施する。	
第3日(土)	水曜日のプログラムを実施する。	

	日	時 間
生け花紹介	月1回	17:15~17:30

オリエンテーション各講義内容

「日本の社会・風土」	「日本の歴史・文化」	「日本の教育」	「日本の経済」	「日本語Ⅰ」	「日本語Ⅱ」
<p>I. 現代日本社会の特徴 物の豊かさ、多文化、生産的、能率的な社会消費の集中と都市化</p> <p>II. 戦後の消費パターンの変化と生活様式の変化 平均的理理想住宅の変化と家族像の変化 中流意識 生活様式の多様化</p> <p>III. 現代の平均的家庭 家計支出 教育 女性の理想進出</p> <p>IV. まとめ 日本社会の均質性と多様化</p>	<p>I. 日本の歴史概観 海外との交渉 海外文化の国風化 伝統文化と現代文化</p> <p>II. 日本文化の独自性と変容 1) 連続性と不連続性 2) 現代に生きる伝統文化の紹介 3) 近代化と西洋化の違い 4) 文化の発信/受信(アジアの一員として)</p>	<p>I. 日本の教育の現況 -教育の各段階の現況- 1) 学前教育 2) 小学校 3) 中学校 4) 高等学校 5) 大学と大学院</p> <p>II. 歴史的背景 1) 明治時代の日本の教育計画 近代化の三つの方法</p> <p>III. 今後の課題 1) 高等教育の計画 2) 女性の教育 3) 近世教育</p>	<p>I. 戦後の経済発展の諸要因 1) 政府の産業政策 2) 文化・社会の背景と政治的安定性 3) 政府金融と高い貯蓄性 4) 産業の集約化 5) 海外技術の導入 6) 教育 7) 貿易関係</p> <p>II. 貿易構造 1) 終身雇用 2) 企業内トレーニング 3) 柔構造 4) Q C 5) 労働組合</p> <p>III. 経済技術協力の現状と展望</p>	<p>1. 日本語の音価組織 2. 日本語の音価面における特徴 3. 練習A (1) 自己紹介 (2) 自己紹介 (3) 日本語の敬</p>	<p>日本語使用の中 でもっとも簡単に で覚えやすく、 また実用的であ ると思われる語 い。文型を紹介 し、練習を行う。</p>
<p>日本社会の衰退と現代を消費行動 を通して分析し生活、消費のメカ ニズムの中に日本社会の現代と動 向を捉える。 主に触れるポイント 日本人の進軍の高さ、正確さ等 の特徴 単一民族、単一言語 核家族化、都市化、教育 女性の地位、中流意識、生活様式</p>	<p>日本の歴史を概観し、同時に海外 からの文化移入と国風化の過程を 述べる。 また、日本文化の独自性を宗教、美 術、天官制等を例に取り、伝統文化 と現代文化との対比事により紹介 する。 主に触れるポイント 世界文明の発祥、日本文化のあ ろはの、中国、中央アジア、ヨー ロッパの影響 文字、建築等中国文化の国風化 文化、芸術等の伝統と独自の文 化 欧米化と近代化</p>	<p>日本の近代化の原動力となった教育の 発展過程を江戸末期までさかのぼり分 析することにより日本の教育が日本 の発展に果たした役割を説明する。 主に触れるポイント 日本教育の現状 明治時代の教育計画、都市化と教育 高等教育、女性の教育、職業訓練校</p>	<p>戦後の日本経済発展の礎となった諸 要因を政府の政策、政治、教育、国 際関係等に例を取り、わかり易く説 明し、併せて、日本の経済風土とも いえる労働関係及び日本経済の最近 の動向にもスポットをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも 関心を持たせたい。 主に触れるポイント 民間と政府との関係、文化、社会 的待遇、産業集約化、海外の技術 導入と消化 技術の普及度、年功序列、企業内 訓練、QC、労組、教育の果たした 役割 海外依存、貿易、経済技術協力の 使用フィルム(ビデオ版) Path to Industrialization</p>	<p>国際協力事業団 発行 [Simple Conversion In Japanese]に基づき、日 本語の音価の特徴 的な面によつて、 ら具体的な使用の 練習を行う。</p>	
<p>使用フィルム(ビデオ版) Japan - An overview</p>	<p>使用フィルム(ビデオ版) The Scroll of Times</p>	<p>使用フィルム(ビデオ版) An Introduction to Education in Japan</p>	<p>使用フィルム(ビデオ版) Path to Industrialization</p>		

都内見学ルート 9:00 TIC発 明治神宮 尾崎記念館 見居 13:00 TIC着
※ 配付資料
(1) 専攻テキスト (2) 各講義レジュメ (3) "Statistical Handbook of Japan 1985" (4) "Organization of the Government of Japan"
(5) "Complete Atlas of Japan" (6) Japan of Today" (7) Japan.As it is (日本タテヨコ)

昭和62年度オリエンテーション実施表

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象コース	備考	
		講義参加人数	パラス参加人数			
第1回 (A)	4/2~4/4 (木)(土)	36 (36)	33	タイ・貿易研修センター(1)、コロンビア・食品品質管理(1)、ペルー・臨床誘発電位(1)、マダガスカル・家畜衛生(1)、タイ・洪水予警情報管理システム(1)、ペルー・腫瘍外科(1)、トルコ・薬理学(1)、パラグアイ・家畜衛生(1)、タイ・海洋工学(1)、海洋工学(1)、漁業の為の音響技術(1)、ケニア・灌漑排水計画(1)、中国・非鉄金属工業試験(2)、リハビリテーション(5)、ギニア・農業機械利用(1)、滝漑(1)、スリランカ・野菜種子生産技術(2)、ペルー・農業気象学(1)、フィリピン・動物飼育(3)、教育TV番組制作(1)、スタジオ管理(1)、パキスタン・首都圏水資源開発調査(1)、パラグアイ・イチゴ・カーネーション組織培養(1)、マレーシア・林産研究(3)、モリジブ・TVカメラ(1)、シンガポール・職業訓練(1)		
第2回 (A)	4/6~4/8 (月)(水)	18	19	微生物研究(9)、機械工作技術(6)、金型工作技術(3)		
第2回 (B)	4/9~4/11 (木)(土)	18 (2)	21	醸造工学(5)、リモートセンシング(11)、韓国・園芸作物(1)、ペルー・民族植物生態学(1)		
第3回 (B)	4/16~4/18 (木)(土)	13 (1)	14	犯罪防止(矯正保護)(12)、韓国・膜分離に関する基礎研修(1)		
第4回 (A)	4/27~4/30 (月)(木)	38 (1)	66 (AB合同)	国際通信業務(12)、衛星通信技術(普通)(12)、建築技術(13)、フィジー・電気通信(1)	4/29(水) 祝日	
第4回 (B)	4/30~5/2 (木)(土)	31 (2)		港湾工学(18)、植物流伝伝資源(11)、チリ・家畜繁殖(1)、マレーシア・港湾計画設計建設(1)		
第5回 (B)	5/7~5/9 (木)(土)	27 (7)	50	水路測量(10)、地方行政(10)、マレーシア・企業企画(3)、フィリピン・食品添加物(1)、タンザニア・蒸菜(1)、中国・情報システム(1)、チリ・鉱床学(1)		
第6回 (A)	5/11~5/13 (月)(水)	34 (2)	15	鉄鋼材試験検査技術(10)、貿易振興セミナー(13)、海運経営実務(9)、スリランカ・ダム計画及び建築士(2)		
第6回 (B)	5/14~5/16 (木)(土)	62 (4)	55	工場維持(9)、沿海鉱物資源探査(9)、自動データ処理(9)、国家行政(12)、水力発電(10)、火力発電(9)、インドネシア・公衆衛生(1)、韓国・畑作(大豆)(1)、フィリピン・ダム修復(1)、タイ・経済活動調査(1)		
第7回 (A)	5/18~5/20 (月)(水)	34	36	デジタル交換技術(基本)(14)、建設機械設備コース(7)、上水道施設(13)		

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象コース	備考
		講義参加人数	バスター参加人数		
第7回 (B)	5/21~5/23 (木)(土)	21 (6)	21	都市交通セミナー(11)、家畜人工受精(4)、ザイル・水産生態、生物(1)、ガーナー・ウイリス学(1)、ウルグアイ・病害(1)、ビルマ・総合病院(1)、マレイシア・魚病(1)、タイ・金風加工(1)	
第8回 (A)	5/25~5/27 (月)(水)	17	18	造船経営管理(9)、消防行政(8)	
第8回 (B)	5/28~5/30 (木)(土)	39 (12)	42	家畜衛生研究(8)、廃棄物処理(10)、生活改善普及(9)、シンガポール・メカトニクス(1)、ネパール・柑橘類栽培(1)、ウルグアイ・葡萄栽培(1)、ガーナー・栄養学(1)、タイ・細菌と菌類学(1)、ベル・リハビリテーション(1)、薬品調製評価(1)、ザイル・需要予測(1)、パラグアイ・薬理学(1)、ア首連・乾燥地農業視察(1)、中国・コンピュータの計器における応用(1)、韓国・物産政策(1)	
第9回 (B)	6/4~6/6 (木)(土)	35 (3)	36	稲病害虫防除(9)、測図技術(10)、計量標準(13)、リベリア・議会事務(1)、シリア・規格標準(1)、パナマ・都市交通計画(1)	
第10回 (A)	6/8~6/10 (月)(水)	9 (2)	11	農業機械整備(7)、エジプト・農業機械整備(1)、タンザニア・農業機械整備(1)	
第10回 (B)	6/11~6/13 (木)(土)	10 (10)	12	フィリピン・土地利用図編集(2)、船回教育(4)、ネパール・水力発電(1)、タイ・雨水排水計画とその管理、処理技術(1)、インドネシア・後体検定(1)、インドネシア・精液加工(1)	
第11回 (A)	6/15~6/17 (月)(水)	24 (1)	25	精神薄弱福祉(8)、通信線路技術(15)、タイ・通信線路技術(1)	
第11回 (B)	6/18~6/20 (木)(土)	38 (21)	37	農地水資源開発(17)、ブラジル・マイクコンコンピュータ(1)、エジプト・病院統計管理(2)、インドネシア・整形外科(2)、電気(1)、板金(1)、幹線道路システム開発(2)、タイ・木材生産技術(2)、水力発電(1)、ベル・電気(1)、自動車整備(1)、フィリピン・視覚技術(1)、昆虫学(1)、タンザニア・上級技能者訓練(1)、パキスタン・水資源開発(1)、メキシコ・破産観測(1)、港湾水利(1)、ポリヴィア・超音波診断(1)	
第12回 (B)	6/25~6/27 (木)(土)	34 (9)	35	受精卵移植技術(6)、結核対策(19)、マレイシア・造植物処理(1)、ブラジル・工業計測技術(1)、フィリピン・熱帯医学(1)、コロンビア・魚養殖(1)、インドネシア・抗生物質(1)、ウイリス学(2)、薬品検定(1)、細菌学(1)	
第13回 (A)	6/29~7/1 (月)(水)	18 (1)	16	工業標準化(17)、タイ・教育放送(1)	

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象コース	備考
		講 参加人数	バ ス 参加人数		
第13回 (B)	7/2~7/4 (木)(土)	21 (10)	25	家族計画組織活動(15)、アルゼンチン・消化器病理(1)、ケニア・造林(1)、タイ・文化(センター業務計画)(1)、センター運営(1)、ブラジル・免疫病学(1)、ペルー・水産加工(1)	
第14回 (A)	7/6~7/8 (月)(水)	27 (4)	26	漁業協同組合(9)、沿岸漁具漁法(実技)(14)、ナイジェリア・沿岸漁具漁法(実技)(1)、インドネシア・砂防工学(1)、有料道路(1)、チュニジア・製図研修(1)	
第14回 (B)	7/9~7/11 (木)(土)	4 (4)	3	フィリピン・ブランクトン分析(1)、パラグアイ・腫瘍外科(1)、フィリピン・船管工事(1)、タイ・水管理監視(1)	
第15回 (A)	7/13~7/15 (月)(水)	14	15	デジタル伝送技術(基礎)(14)	
第15回 (B)	7/16~7/18 (木)(土)	32 (10)	32	森林造成技術者(14)、自動制御(8)、バンングラデシユ・植物病理(1)、フィリピン・道路工学(1)、ブルネイ・建設機械(2)、タイ・農車加工計画(1)、知作物栽培(1)、植物整理(1)、中央アフリカ・建設(副産)(1)、アルゼンチン・大豆病理(1)、フィジー・稲作研究開発(1)	
第16回 (A)	7/20~7/22 (月)(水)	16 (4)	18	河川及びダム工学コース(12)、フィリピン・河川工学(1)、インドネシア・建設機械(2)、農業経済(1)	
第16回 (B)	7/23~7/25 (木)(土)	72 (17)	75	ラジオ放送技術コース(7)、TV放送技術(基礎)(10)、教育TV番組(基礎)(13)、デジタル伝送技術(応用)(10)、農林統計コース(15)、インドネシア・ラジオテレビ放送訓練(4)、経済分析(1)、経済財務分析(1)、スリランカ・テレビ放送技術(1)、タイ・教育放送CH 11(1)リベリア・教育テレビ番組(1)、ジャマイカ・教育放送(1)、ネパール・整形外科(1)、看護(1)、ナイジェリア・環境衛生(1)、フィリピン・水力発電プロジェクトF/S(2)、インド・デジタル伝送(1)、メキシコ・伝送工学(1)	
第17回 (A)	7/27~7/29 (月)(水)	15 (8)	13	運送精練(7)、タイ・看護(2)、中国・地下水開発(2)、チリ・鉱山公害防止技術(4)	
第17回 (B)	7/30~8/1 (木)(土)	16 (11)	16	補器具製作技術(5)、パラグアイ・土壌(1)、卸売市場運営(2)、インドネシア・アコン水力発電開発計画(1)、農業普及(2)、薬品品質管理(3)、エジプト・農業普及(1)、ケニア・農業普及(1)	
第18回 (A)	8/3~8/5 (月)(水)	11 (1)	11	無線通信技術(10)、スリランカ・ゴムの放射線硬化(1)	
第18回 (B)	8/6~8/8 (木)(土)	28 (6)	30	農業普及(14)、地下水資源開発(8)、ネパール・水門地質学(1)、フィリピン・高地農業(1)、インドネシア・中性子解析装置運転保守(1)、中国・日本語(1)、メキシコ・運送精練(2)	

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象コース	備考
		講義 参加人数	実 参加人数		
第19回 (A)	8/10~8/12 (月)(水)	11	11	都市計画コース(11)	
第19回 (B)	8/13~8/15 (木)(土)	63 (37)	66	電波監視(10)、婦人関係行政セミナー(10)、繊維高分子(6)、韓国・釜山災害予防(3)、シンガポール・生産性向上(16)、中国・特許情報検索(7)、タイ・コンピュータ情報システム開発(1)、パラグアイ・土壌(1)、ブラジル・工業計装技術(1)、インドネシア・建設法標準化(1)、フィリピン・養殖技術(1)、ケニア・建築環境工学(1)、水工学(1)、機械工学(1)、電力供給利用(1)、電力システム機器(1)、図書館情報処理(1)	
第20回 (A)	8/17~8/19 (月)(水)	49 (3)	48	鉱山コース(10)、鉄道車両コース(10)、橋梁工学コース(11)、橋梁工学コース(15)、ケニア・橋梁工学(1)、チリ・プロジェクト打ち合わせ(1)、タイ・水資源開発計画管理(1)	
第20回 (B)	8/20~8/22 (木)(土)	30 (11)	32	腎不全対策(10)、林業林産研究(9)、タイ・造林(1)、インドネシア・灌漑排水管理(1)、流域開発(1)、エクアドル・道園(1)、マレーシア・都市開発データベース(1)、エジプト・石運行政(1)、インドネシア・森林保護(1)、韓国・養蜂経営(1)、中国・魚卵孵化場管理(2)、ブラジル・平活筋細胞培養(1)	
第21回 (A)	8/24~8/26 (月)(水)	41 (3)	39	空港セミナー(10)、航路標識(9)、電気事業経営(8)、貿易実務指導者(11)、スーダン・空港セミナー(1)、中国・ガス分析(1)、アルゼンチン・消化器内視鏡(1)	
第21回 (B)	8/27~8/29 (木)(土)	65 (14)	89	家族計画指導者セミナー(11)、国際テレックス通信技術(10)、衛星通信技術上級(10)、消化器病理学(11)、建設施行(9)、パラグアイ・衛星通信(1)、マレーシア・衛星通信(1)、ケニア・衛星通信(1)、タイ・環境汚染品質管理(1)、マレーシア・木材保存(1)、トンガ・冷凍施設保守管理(1)、ウルグアイ・胸部外科(1)、ベネズエラ・消化器管癌対策(1)、エジプト・微細血管外科(1)、航海援助(1)、ペルー・マイクログロブピクター(1)、インドネシア・海員教育(1)、中国・溶接技術(2)	
第22回 (A)	8/31~9/2 (月)(水)	60 (6)	58	輸出入食品検査技術(9)、工芸所有権制度(13)、地熱エネルギー(13)、工業デザイン(5)、下水道技術(14)、イラン・核医学(2)、マレーシア・職員研修(1)、チリ・家畜繁殖(1)、トルコ・地熱エネルギー(2)	
第22回 (B)	9/3~9/5 (木)(土)	71 (15)	67	救急救助技術(6)、気象学(8)、海洋牧場システム(7)、初処理精米加工(15)、太平洋協力民間中堅実務研修(20)、ペルー・心臓病学、血管造影法(1)、タイ・地域林業(1)、インドネシア・植物組織(1)、カメルーン・井戸掘メンテナンクス(1)、インドネシア・経営(1)、ホンジュラス・自動車整備(1)、中国・心臓病(1)、ブルネイ・林業研究(1)、タイ・生化学(1)、水道管保守(1)、水道計画(2)、機器保守(1)、水質管理(1)、中国・水産加工(1)	
第23回 (A)	9/7~9/9 (月)(水)	47 (11)	38	税関行政(15)、産業医学(11)、循環器病対策(5)、生物製剤技術(5)、インドネシア・砂防工学(1)、植物病理(1)、タンザニア・教育(1)、ペルー・地震波測定(2)、フィリピン・重機保守(1)、ブルネイ・建設機械(5)	

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象コース	備考
		講 参加人数	バ ス 参加人数		
第23回 (B)	9/10~9/12 (木)(土)	39 (5)	43	科学技術研究(8)、環境技術(10)、雇用行政セミナー(10)、配電技術(6)、中国・産業安全衛生(1)、フィリピン・かき浄化(1)、マレーシア・木材成分(1)、道路保守(1)、インドネシア・経営(1)	
第24回 (A)	9/14~9/17 (月)(水)	7 (1)	中止 (AB合同)	プラスチック(6)、タイ・配電(1)	9/15(火) 祝日
第24回 (B)	9/17~9/19 (木)(土)	40 (16)	中止 (AB合同)	産業環境対策(5)、地盤工学(19)、マレーシア・コンピュータ操作システム(1)、データベース(1)、フィリピン・舗装工学(1)、構造成工学(1)、電気工学(1)、教材開発(1)、ペルー・土壤(1)、イラン・核医(1)、チリ・漁業資源(2)、アルゼンチン・鉄道車輛(1)、運輸線(1)、電子線(1)、信号(1)、タイ・水資源開発(1)	
第25回 (A)	9/21~9/24 (月)(木)	26 (5)	42 (AB合同)	住宅住環境改善(10)、国土開発セミナー(11)、ネパール・道路建設保守管理(1)、インドネシア・砂防技術(2)、スーダン・無線電技術電送技術(1)、タイ・水資源開発(1)	9/23(水) 祝日
第25回 (B)	9/24~9/26 (木)(土)	76 (14)	42 (AB合同)	一般統計(31)、労働安全衛生行政セミナー(17)、通信網計画設計(14)、アルゼンチン・電気通信網(2)、ペルー・デジタル通信(1)、スリランカ・コンピュータハード(2)、タイ・研究管理(1)、韓国・UNIDO業務学(1)、遊生物学(1)、マレーシア・家禽病研究訓練計画(2)、メキシコ・社会経済分析(1)、人口データバンク(1)、人口計画(1)、中国・国際金融(1)	
第26回 (A)	9/28~9/30 (月)(水)	43 (8)	43	ハイウェイセミナー(14)、貿易振興セミナー(12)、鉄道線路保守改良コース(9)、マレーシア・都市交通(1)、メキシコ・電力線保全(1)、スリランカ・投資促進(1)、コンピュータソフト(1)、タイ・園芸(1)、ガーナ・道路設計(1)、中国・ラジオ放送技術(1)、タイ・先天性奇形(1)	
第26回 (B)	10/1~10/3 (木)(土)	89 (26)	98	デジタル交換技術(応用)(10)、アイトープ放射線医学生物学(10)、防災技術(12)、犯罪防止(刑事司法)(12)、専門看護(8)、結核対策細菌技術(6)、酪農振興検査技術(5)、中国・製材(2)、複合材(1)、木材乾燥(1)、水資源(1)、肉類(1)、冷蔵師と圧縮(2)、フィリピン・科学技術(2)、自動車検査(1)、水力発電(2)、石炭開発(2)、エジプト・小児集中治療(1)、パキスタン・小児集中治療(1)、パラグアイ・臨床検査(2)、タイ・コンピュータ応用(1)、モルディブ・自動車整備(2)、チュニジア・コンピュータソフトウエア(1)、ボリヴィア・航空工学(1)、ブラジル・整形外科(1)、選鉱精練(1)	
第27回 (A)	10/5~10/7 (月)(水)	39	52 (AB合同)	石炭資源開発(6)、観光振興セミナー(16)、港湾セミナー(17)	
第27回 (B)	10/7~10/9 (水)(金)	32 (7)	52 (AB合同)	欧亜者リハビリ指導者(10)、開発エコノミスト(一般)(7)、生産性向上技術(8)、ペルー・食品微生物学及び醗酵(1)、フィリピン・森林保全(2)、インドネシア・灌漑(1)、タイ・風疹ワクチン(1)、百日咳ワクチン(1)、狂犬病ワクチン(1)	10/10(土) 祝日
第28回 (A)	10/12~10/14 (月)(水)	10 (10)	12	マレーシア・漁具漁法(1)、中国・リンパ系解剖学(1)、フィリピン・寄生虫病学(1)、コロンビア・石炭火力発電(1)、タイ・石炭火力発電(2)、マレーシア・石炭火力発電(1)、インドネシア・石炭火力発電(2)、フィリピン・石炭火力発電(1)	

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象コース	備考
		講義参加人数	パネリスト参加人数		
第28回 (B)	10/15~10/17 (木) (土)	65 (27)	66	鉄道電化 (9)、総合都市交通施設設計 (11)、借款手続 (18)、パラグアイ・牛の血液型検査 (1)、家畜栄養 (1)、パキスタン・鉄鋼製造 (5)、マレーシア・職業訓練 (7)、溶接技術 (1)、タイ・環境工学 (1)、物理利用法 (1)、裁縫器具 (1)、フィリピン・微生物学的試験 (1)、バイオロジカルアッセイ (1)、ペルー・構造実験 (1)、中国・水産加工 (2)、ダム建設技術 (1)、鉱山品検査研究センター (1)、ケニア・稲作 (1)、インドネシア・灌漑 (1)	
第29回 (B)	10/22~10/24 (木) (土)	28 (5)	42	省エネルギー (10)、土壌及び基礎工学 (7)、救難防災 (6)、バングラデシュ・気象観測レーダー保守 (1)、ポリビア・家畜人工受精 (1)、ケニア・車輛保守 (1)、アルゼンチン・放射線 (1)、ネパール・理科教育 (1)	
第30回 (A)	10/26~10/28 (月) (水)	16 (3)	7	住宅建設 (6)、船員教育行政 (7)、インドネシア・交通需要予測 (1)、島間間交通 (1)、パキスタン・研究機器操作 (1)	
第30回 (B)	10/29~10/31 (木) (土)	10 (10)	33	パラグアイ・消化器内視鏡 (1)、歯学 (1)、タイ・農業機械デザイン (1)、トルコ・電機 (2)、エジプト・天文学 (1)、ウルグアイ・ブロンコファイバースコープ (1)、インドネシア・板金及び配管 (1)、機械工学 (1)、ビルマ・養豚 (1)	
第31回 (B)	11/5~11/7 (木) (土)	14 (7)	20	データ通信技術 (7)、ケニア・データ通信技術 (1)、タイ・データ通信技術 (1)、中国・データ通信技術 (1)、フィリピン・水力開発 (1)、かき環境調査 (1)、タンザニア・水力開発 (1)、韓国・エネルギーバランスと温室管理 (1)	
第32回 (A)	11/9~11/11 (月) (水)	8 (1)	9	海図作成 (7)、タイ・都市交通計画 (1)	
第32回 (B)	11/12~11/14 (木) (土)	34 (22)	36	都市整備 (12)、イラク・オフィスオートメーション (14)、フィリピン・灌漑 (1)、マレーシア・中小企業 (1)、エジプト・蠶糸 (1)、中国・リハビリテーション (5)	
第33回 (B)	11/19~11/21 (木) (土)	22 (9)	18	医療放射線技術 (6)、エビ増養殖技術 (7)、韓国・歯学 (1)、ネパール・結核対策 (1)、タイ・職業準備 (2)、分析学 (1)、パキスタン・レントゲン (1)、インドネシア・教材開発 (1)、コンピュータ地質 (2)	
第34回 (B)	11/26~11/28 (木) (土)	7 (7)	7	ブルキナファソ・車輛保守 (1)、インドネシア・地熱開発 (1)、計画評価 (1)、砂防工学 (1)、タイ・情報システム (3)	
第35回 (A)	1/11~1/13 (月) (水)	74 (2)		中小企業対策 (12)、保全部品の設計製造 (6)、設備診断技術 (5)、認証検査制度 (11)、船舶技術 (14)、ガラス工学 (9)、早期胃癌診断 (15)、インドネシア・口腔外科 (1)、韓国・人工知能 (1)	
第35回 (B)	1/13~1/16 (木) (土)	75 (24)	138 (AB合同)	小型漁船の船体・機関保守 (7)、養殖一般 (8)、沿岸漁具漁法Ⅱ (理論) (8)、国際電話通信技術 (11)、国際データ通信技術 (9)、鉄道信号 (8)、マレーシア・治水 (1)、地方一般行政 (2)、運輸管理 (1)、ビルマ・職業訓練 (1)、中国・鉱山品検査研究センター (1)、韓国・中期経済成長 (1)、有機合成 (1)、ペルー・神糧原料 (1)、シンガポール・工業電気 (1)、パラグアイ・農業気象 (1)、農業機械 (1)、フィリピン・アルコーン脱粒 (1)、水路測量 (1)、タイ・寄生虫学 (1)、フィジー・自動車整備 (1)、ジョルダン・電力 (1)、ユーゴスラビア・数値制御 (1)、国際電話交換技術 (1)、ザイール・CTスキャナー (1)、医療器材 (2)、スリランカ・新生児集中治療看護 (1)、ソロモン諸島・顕微鏡維持修理 (マラリア対策) (1)	1/15(金) 祝日

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象国	備考
		講義参加人数	バスター参加人数		
第36回 (A)	1/18~1/20 (月)(水)	46 (23)	39	熱帯医学研究(5)、コンテナ頭頂整備計画(8)、貿易振興セミナー(A)(10)、スリランカ・原子力発電(1)、タイ・原子力発電(1)、小児専門医療(1)、探炭先端技術(1)、インドネシア・原子力発電(1)、探炭先端技術(1)、中国・原子力発電(1)、探炭先端技術(1)、韓国・原子力発電(1)、メキシコ・原子力発電(1)、サウジアラビア・小児専門医療(1)、シンガポール・小児専門医療(1)、水耕法(1)、ブラジル・小児専門医療(1)、エジプト・小児専門医療(1)、パングラデシュ・探炭先端技術(1)、インド・探炭先端技術(1)、フィリピン・探炭先端技術(1)、ダム保守(1)、水力発電(1)、ビルマ・輸出計画促進(2)	
第36回 (B)	1/21~1/23 (木)(土)	72 (18)	80	TV放送技術(上級)(11)、教育TV番組(上級)(10)、環境行政(12)、原子力基礎実験(10)、水産食品加工(7)、農薬利用(4)、フルネイ・教育TV番組(1)、ネパール・スタジオ設備(1)、マレーシア・空港管理(1)、交通輸送システム(1)、行政情報システム(1)、タイ・森林経営(1)、行政情報システム(1)、中国・林木育種(1)、行政情報システム(1)、パングラデシュ・植物栽培(1)、果樹(1)、アルゼンチン・行政情報システム(1)、インドネシア・行政情報システム(1)、ボリビア・行政情報システム(1)、ブラジル・行政情報システム(1)、トルコ・行政情報システム(1)、スリランカ・行政情報システム(1)、インド・貿易振興セミナー(A)(1)	
第37回 (A)	1/25~1/27 (月)(水)	23 (15)	10	石油化学工業(8)、シンガポール・電気製品検査技術(1)、中国・電気製品検査技術(2)、タイ・電気製品検査技術(1)、マレーシア・電気製品検査技術(1)、自動車技術行政(1)、ジャマイカ・自動車技術行政(1)、ブラジル・自動車技術行政(1)、シンガポール・車輪登録(1)、ケニア・熱帯医学研究(1)、インドネシア・自動車技術行政(1)、サウジアラビア・自動車技術行政(1)、タイ・自動車技術行政(1)、フィリピン・自動車技術行政(1)、韓国・原核汚染学(1)	
第37回 (B)	1/28~1/30 (木)(土)	47 (12)	47	寄生虫予防指導者(12)、空港管理(8)、包装技術(15)、エジプト・空港管理(1)、シリア・虹鱈養殖(1)、インドネシア・電気製品貿易(1)、森林育成(1)、リモートセンシング(1)、キューバ・海老養殖(1)、中国・森林土壌(1)、サンビエ、冷凍機(2)、タイ・造林(1)、コロンビア・免疫学細菌学(1)、スリランカ・医学実験室(1)	
第38回 (B)	2/4~2/6 (木)(土)	43 (9)	43	犯罪防止(上級)(16)、放射線科学基礎研究(12)、触媒化学研究(6)、ボリヴィア・ハイウェイ交通(2)、インドネシア・収穫改良(1)、中国・野菜研究(1)、マレーシア・水力発電(1)、フィリピン・建設(1)、石橋術(1)、鉄筋(1)、マラウイ・資源探査(1)	
第39回 (A)	2/8~2/10 (月)(水)	25 (8)		野菜生産(7)、野菜探種(10)、スリランカ・野菜栽培(1)、ペルー・野菜栽培(1)、鉱山地質学(1)、フィリピン・稲作(1)、タンザニア・野菜生産(1)、ブラジル・資源開拓調査(1)、ボリビア・鉱山地質学(1)、メキシコ・鉱業(1)	
第39回 (B)	2/10~2/13 (水)(土)	66 (18)	68 (AB合同)	経済開発(13)、灌漑排水(11)、農業機械化(10)、稲作技術(7)、研究開発技術(7)、フィリピン・細地産産(1)、灌漑計画(1)、エチオピア・灌漑(1)、パキスタン・プロジェクト・マスタープラン(1)、パラグアイ・家畜衛生(1)、中国・水産加工(1)、商品検査(1)、ケニア・農業機械(1)、コンピュータ・応用(1)、インドネシア・機械(1)、灌漑排水装置モニター(1)、砂防技術(1)、マレーシア・小水力発電(1)、ジョルダン・電力(2)、タイ・工業用水有効利用(1)、工業用水合理的利用(1)、韓国・科学技術政策(1)	

実施回	実施期間 (月) (水)	参加研修員数		実施対象 コー ス	備考
		講 義 参加人数	バ ス 参加人数		
第40回 (A)	2/15~2/17 (月) (水)	10 (3)	10	光ファイバー通信(7)、マレイシア・システムマネジメント(3)	
第40回 (B)	2/18~2/20 (木) (土)	14 (14)	22	インドネシア・原子力安全規制行政(1)、医療機器保守管理技術(1)、マレイシア・原子力安全規制行政(1)、中国・原子力安全規制行政(1)、タイ・原子力安全規制行政(1)、医療機器保守管理技術(1)、韓国・原子力安全規制行政(1)、スリランカ・原子力安全規制行政(1)、医療機器保守管理技術(1)、フィリピン・医療機器保守管理技術(1)、バンガラデシユ・医療機器保守管理技術(1)、ネパール・医療機器保守管理技術(1)、インド・医療機器保守管理技術(1)、イエメン・医療機器保守(1)	
第41回 (B)	2/25~2/27 (木) (土)	12 (12)	41	韓国・免疫学(1)、病理(2)、インドネシア・データ処理(1)、砂防工学(1)、パキスタン・資源開発(1)、ウルグアイ・内視鏡(2)、グアテマラ・港施設(1)、スリランカ・ボーリング機器保守(1)、伝統医学研究(1)、タンザニア・造林(1)	
第42回 (B)	3/3~3/5 (木) (土)	53 (42)	41	鉱山保安(1)、日中友好病院(20)、インドネシア・電気通信(2)、昆虫(1)、電気機器(1)、ペルー・地震工学(1)、中国・電子計算機(1)、食品化学(1)、肉類化学(1)、フィリピン・灌漑システム(1)、ロタウイルス(1)、タイ・コロパイトタライト探査(1)、資源調査(1)、シンガポール・公園都市利用保守(1)、教育テレビ番組(2)、TV放送技術(2)、ガーナ・ウイリス学(1)、ブラジル・消化器内視鏡(1)、電子顕微鏡(1)、微生物学(1)、寄生虫学(1)	
第43回 (A)	3/7~3/9 (月) (水)	8 (8)	8	オマーン・水門学(1)、タイ・魚類生理防疫(1)、中国・魚類生理防疫(1)、インドネシア・魚類生理防疫(1)、アルゼンチン・魚類生理防疫(2)、チリ・魚類生理防疫(1)、バングラデッシュ・農業経済(1)	
第43回 (B)	3/10~3/12 (木) (土)	10 (10)	41	ケニア・昆虫学(1)、土壌(1)、ウイリス学(1)、インドネシア・森林行政(1)、水資源開発計画(1)、アラブ首長国連邦・養殖(1)、中国・鉱業試験(4)	
第44回 (A)	3/14~3/16 (月) (水)	36 (18)	35	農業機械設計(10)、米生産(8)、インドネシア・消防技術(9)、消防行政(1)、農業機械設計(1)、スリランカ・稲作(1)、ホンジュラス・米生産(1)、フィリピン・稲作(1)、シリア・度量衡計測(3)、機械保守管理(1)	
第44回 (B)	3/17~3/19 (木) (土)	25 (25)	33	パラグアイ・作物病害(1)、造林(1)、林業機械(2)、ケニア・機械保守(1)、ウイリス学(1)、造林(1)、ウルグアイ・虫害(1)、ペルー・野菜栽培(1)、フィリピン・指教監獄(1)、法廷学(1)、薬品検査(1)、施設運営(1)、ブラジル・触媒(1)、中国・人工気象(1)、作物生理(1)、マレイシア・職業訓練(1)、カメルーン・養殖技術(1)、漁具漁法(2)、タイ・林業機械(1)、造林業(1)、インドネシア・都市交通(1)、動物ウイリス学(1)、運営(1)	
第45回 (B)	3/24~3/26 (木) (土)	11 (11)	22	フィリピン・視覚覚操作(1)、タイ・テクノエコノミクス(1)、分子生物学(1)、ビールス性因子クロン(1)、ケニア・地質(1)、ブラジル・交通工学(1)、アルゼンチン・鉱業(1)、ブルネイ・森林開発(1)、ニジェール・バス保守管理(2)、トルコ・水産加工(1)	

実施回	実施期間	参加研修員数		実施対象コース	備考
		講義参加人数	バス参加人数		
第46回 (A)	3/28~3/30 (月) (木)	42 (42)	41	パキスタン・施設保守(1)、メキシコ・都市計画(1)、胃腸内視鏡(2)、早期胃癌診断(1)、情報システム(1)、地質学(1)、腎不全予防(1)、放射線医学(1)、分析化学(1)、品質管理(3)、バイオテクノロジー(1)、電子回路(1)、コンピュータ・コミュニケーションネットワーク(1)、電信電子(1)、マイクログロブセッサー(1)、甲殻類養殖(1)、組織培養(1)、パンダラデシユ・気象観測(2)、農業開発(1)、ブラジル・リンゴ(1)、港灣工学(1)、アルゼンチン・視覚教材作成(1)、タイ・泡巣調査(1)、マレーシア・エヒ種病生産(2)、パラグアイ・農業機械修理(1)、建設機械(1)、ユーゴスラビア・地形学(1)、フィリピン・窒素固定法(1)、灌漑技術(1)、鉱物資源基本図(2)、コロンビア・小規模発電プラント(1)、インドネシア・航空輸送(1)、ペルー・磁石構造(1)、エジプト・照明装置(1)、音響装置(1)、ケニア・細菌学(1)	
第46回 (B)	3/31 (木)	22 (22)		フィリピン・機材整備(1)、食品試験検査(1)、輸出入業務(1)、輸出業務訓練(1)、ビルマ・農業機械(1)、中国・電子計算機(1)、ペルー・電子(1)、溶接(1)、パラグアイ・都市交通(1)、タイ・電子顕微鏡(1)、ウイリス学(2)、土質試験(1)、エジプト・稲作機械化(1)、雑草防除(1)、チリ・食道胃腸癌(1)、エチオピア・水道(1)、インドネシア・エアコン(1)、マラリア(1)、地域水供給計画(1)、冶金(2)	
	合計	2568 (814)	2492		

() 内数字は個別研修員で内数

生花紹介参加者数 (月1回実施)

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
実施日	4月7日	5月26日	6月16日	7月14日	8月4日	9月8日	10月6日	11月10日	12月3日	1月19日	2月16日	3月15日	
参加者数	30	18	32	36	33	40	32	32	10	33	35	15	346

(5) 健康管理

診療室は嘱託医師1名（但し6名の嘱託医師が毎日交替）と常勤看護婦1名の体制のもとに次の通り実施した。研修員の健康上のカウンセリング予防措置及び応急措置を行うこと、また、本格的な検査、治療が必要と思われる場合には、近隣の医療機関を紹介することを主な役割としている。

嘱託医師の派遣を含む診療室の運営については、東京女子医科大学及び国立病院医療センターの協力により円滑な実施をはかった。



診療室運営は下記のとおり。

診療日及び時間 ①診療日 月曜～土曜（祝祭日は休診）

②診療時間 16時30分～21時

※ 但し、嘱託医師の勤務は18時～21時

従って16時30分～18時までは看護婦による応急措置及び診療受付時間とする。

業務内容 ①研修員の一般的な健康相談

②研修員の傷病に対する診察及び応急措置

③病状により適当な医療施設への紹介

（渋谷区医師会及び歯科医師会より紹介のあった最寄りの開業医・病院 —— 病状によって東京女子医大病院、あるいは国立病院医療センター等）

診療室を含む医療体制の整備により、健康相談を通じ研修員の心身の不安の解

消に大いに貢献したと思われる。

主な疾患としては、気候や生活環境の変化に起因すると思われる風邪、皮膚疾患、便秘等であり、これらの諸疾患は来日直後、日本の生活に順応する過程において多く見受けられる。

昭和62年度も診療室利用者数（2,054）に比較して、外部医療機関の紹介件数は164人と著しく低くなっており診療室が効果的に機能していることが伺われる。

診療室の利用状況および外部医療機関紹介数は資料の通りである。

診察室利用状況表

62.4 ~ 63.3

科 月	内	外	皮膚	整形	泌尿	眼	耳鼻	婦人	歯	人数 合計	稼働 日数	平均
4	56	2	12	13	1	6	2		7	99	25	3.96
	1		1	1		3			9	15		
5	74	11	16	21	2	6	2	1	5	138	24	5.75
	5 (2)			2	2	1			4	14 (2)		
6	80	15	37	16	1	6	8		11	174	26	6.7
	6 (1)	3	1	2	1		1		2	16 (1)		
7	102	23	31	15	9	7	13		8	208	27	7.7
	9 (1)	3 (1)		2	2	1	1		2	20 (2)		
8	124	20	33	21	3	10	14	1	7	233	26	8.97
	6 (1)	1	1	1 (1)	1		1		2	13 (2)		
9	129	33	53	22	3	6	1	2	8	257	24	10.71
	5	4	2	3		6		1	4	25		
10	143	13	23	19	2	12	2	2	7	223	26	8.58
	2	2		1		1			3	9		
11	98	16	32	13	2	5	5		6	177	23	7.7
	5		2	1	3 (1)		1		2	14 (1)		
12	42	9	16	3		2	4	1	9	86	23	3.74
	6 (1)	1	1	1	1	1	2		5	18 (1)		
1	78	4	25	14			3	1	6	131	23	5.7
	5		1	1	1 (1)				3	11 (1)		
2	122	13	24	6		3	2	1	8	179	24	7.46
	2 (1)	2							2	6 (1)		
3	102	20	11	8		2	3		3	149	26	5.73
	1	1			1					3		
合計	1,150	179	313	171	23	65	59	9	85	2,054	297	6.92
	53 (7)	17 (1)	9	15 (1)	12 (2)	13	6	1	38	164 (11)		

(注) 下段の数字は外部医療機関紹介者数
() は入院を要した者

地域別診療室利用状況表

地域 月	地域別患者数						計
	アジア	中近東	アフリカ	中南米	オセアニア	その他	
4	66	13	8	12			99
5	73	19	27	16	2	1	138
6	86	33	31	24			174
7	112	31	33	22	10		208
8	102	40	49	40	2		233
9	111	41	55	41	9		257
10	112	25	46	34	6		223
11	108	25	24	15	4	1	177
12	57	9	8	10	2		86
1	73	13	17	26	2		131
2	97	21	23	38			179
3	94	11	20	23	1		149
合計	1,091	281	341	301	38	2	2,054

(6) 日本語研修

日本語研修は、集中講習と一般講習に区分し、いずれも（財）国際協力サービスセンターの協力を得て実施した。

集中講習

集中講習は、研修員の技術研修期間における言語的支障をできるだけ軽減し、研修員と研修指導者等との間のコミュニケーションを円滑にし、研修効果を高めることを目的に、それぞれの専門分野の研修開始前に一定期間実施するもので、研修プログラムの一環として行なうためその受講が義務づけられている。

日本語研修期間は、要求される日本語運用能力の程度等に応じて決まり、62年度は概ね1ヶ月程度が半数、2ヶ月～3ヶ月が半数近く、6ヶ月前後からまれに1年が数パーセント程度であった。

研修時間は、通常月曜日から金曜日まで毎日5時間（午前9：30～12：00、午後1：30～4：00まで）となっている。

また、学習効果を考慮し、レベルチェックしながら、10人前後のクラス編成を標準に実施している。

集中講習の受講者数は、受入研修員数の着実な増大とあいまって、増加しており、特に個別研修コースの地方における実施の増大に伴う日本語研修の必要性が高まっていることもあり、今後とも増大するものと考えられる。

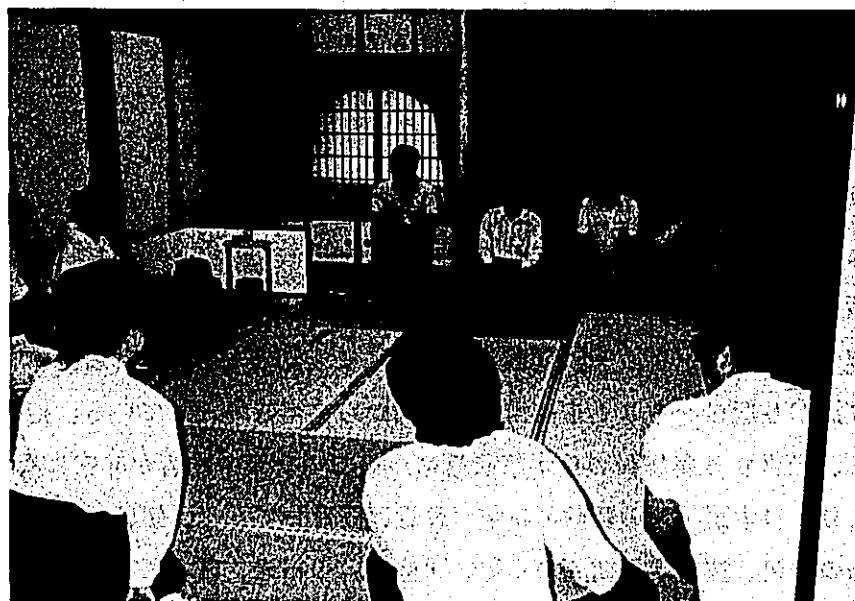
テキスト等教材は、JICAが研修員のために開発した共通テキスト、分野別テキスト等を使用し、出来る限り夫々の研修員の日本語使用場面を考慮して指導に当たっている。

教授法は直接法により、日本語研修期間が概ね1ヶ月未満の場合は会話を中心に指導し、テキストはローマ字版を使用することが多い。1ヶ月以上の場合は漢字かな混じり版のテキストを使用し、最初から文字を導入している。指導にあたっては、受講する研修員の日本語研修についての背景や内容が非常に異っている。つまり、日本語学習の経験の有無（最近、既習してくる研修員が目立っている）、母語の相違、技術研修期間の長短、研修内容の相違、日本語の必要性の度合いの相違等、様々な難しい条件があり、それらの多様性に適切に対応した効果的な研修の実施に留意している。また教室外の研修として、デパート、工場、博物館見

学等半日の屋外研修、合宿研修、特別教育活動等を取り入れ学習意欲の向上に努めている。



日本語集中講習の授業風景



日本語合宿研修：日本文化の紹介

国立婦人教育会館於

○合宿研修

教室で学習した日本語を実際に話す機会を与えることを目的とし、概ね300時間以上の日本語集中講習に参加する研修員を対象に、約200時間終了時に実施した。

- 第1回 62. 8.12～ 8.13 (1泊2日)
国立婦人教育会館 (埼玉県 武蔵嵐山)
研修員 7名 同行者 3名
- 第2回 62.12. 3～12. 4 (1泊2日)
国立婦人教育会館 (埼玉県 武蔵嵐山)
研修員 14名 同行者 4名
- 第3回 63. 2.16～ 2.17 (1泊2日)
県立婦人総合センター (神奈川県 藤沢市)
研修員 8名 同行者 3名



日本語合宿研修：地元のボランティアとの歓談

国立婦人教育会館於

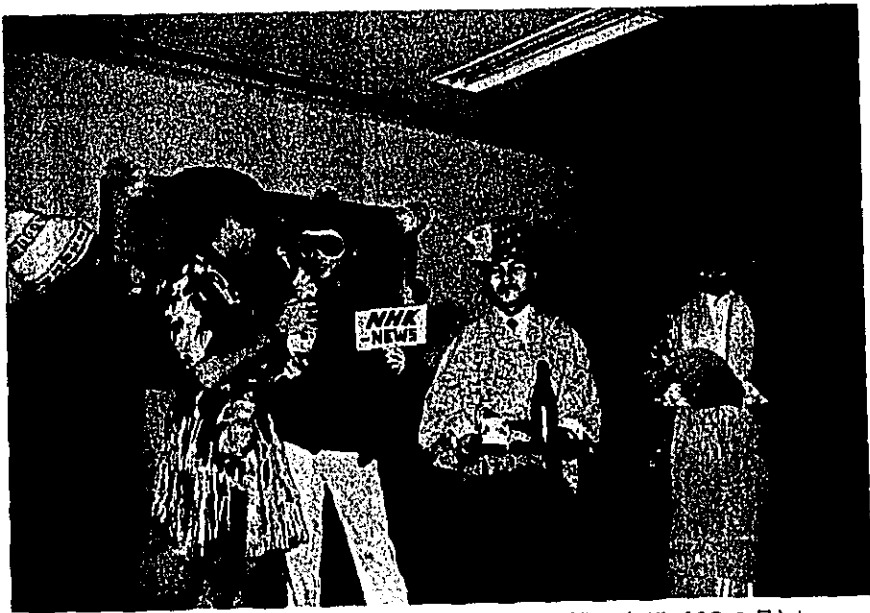
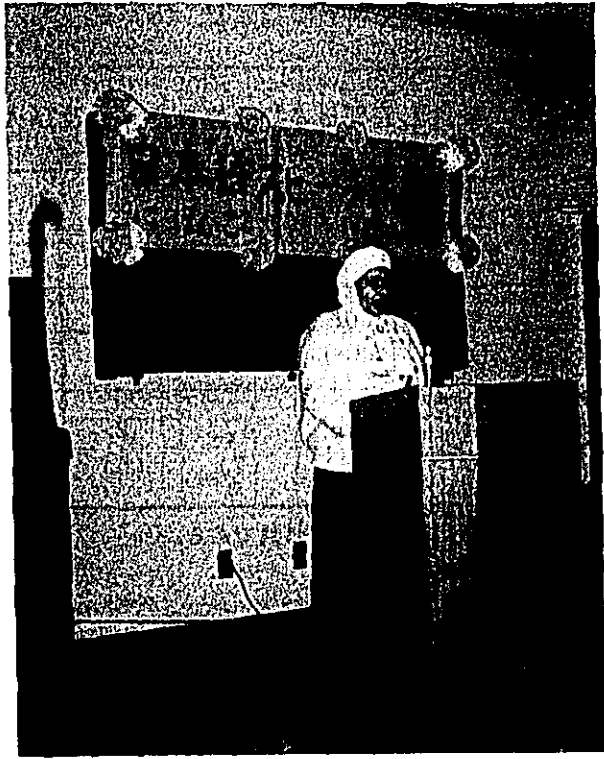
○特別教育活動

日本語活動の参加を通じて、日本文化等への関心を持たせるとともに、日々の学習意欲を喚起することを目的として実施した。

- 第1回 「日本の歌の会」
62. 7.10 TIC ブリーフィングルーム
曲目：四季の歌、北酒場、いい日旅立ち、銀座の恋の物語
参加者 約110名
- 第2回 「日本の民謡と踊り」—— 盆踊り大会
62. 8.21 TIC 講 堂
曲目：炭坑節、東京音頭
参加者 約200名
- 第3回 「日本の歌の会」
63. 1.29 TIC ブリーフィングルーム
曲目：世界は二人のために、瀬戸の花嫁、別れても好きな人、鼻
参加者 約120名
- 第4回 「日本語スピーチ大会」
63. 3. 4 TIC ブリーフィングルーム
スピーチ 21題 劇 2題
参加者 約100名（スピーカーも含む）



特別教育活動：日本の民謡と踊り—盆踊り大会（62.8月）



特別教育活動：日本語スピーチ大会「劇：浦島太郎（63.3月）」

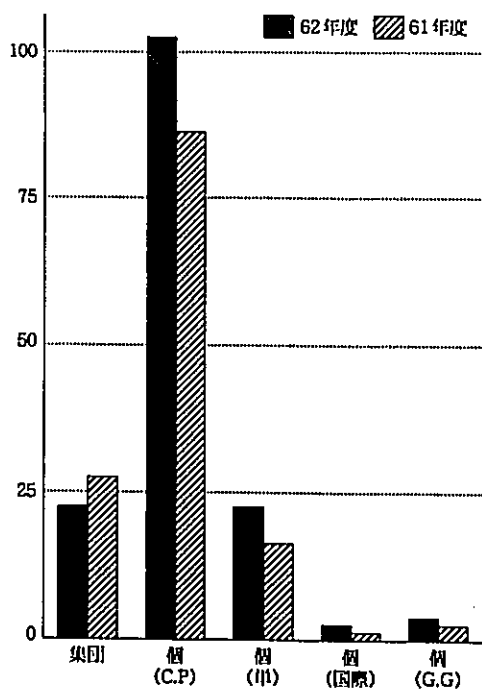
日本語集中講習実績

表(1) 受入形態別日本語研修コース数及び人数

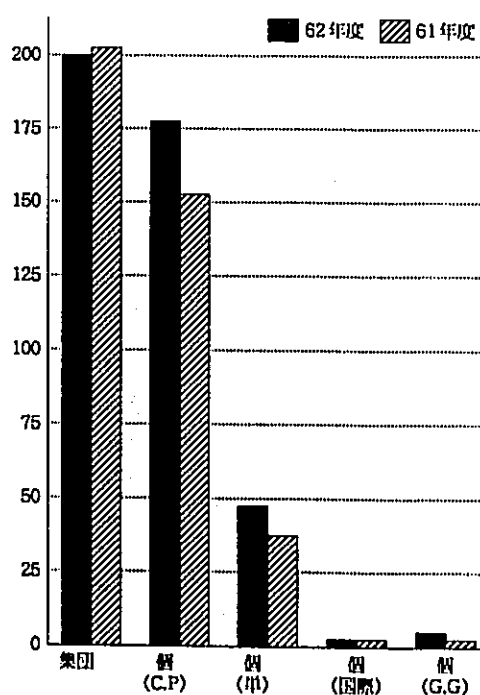
受入形態	集 団		個 別				合 計
	集 団	集・特	C・P	単 発	国 際	G・G	
コース数	18 (2)	3 (0)	105 (20)	21 (6)	2 (0)	5 (0)	154 (28)
人 数	179 (20)	19 (0)	186 (39)	47 (7)	2 (0)	6 (0)	439 (66)

() 内の数字は前年度からの継続分を示す外数である。
下記のグラフは継続分は含まれない。

受入形態別日本語研修コース数



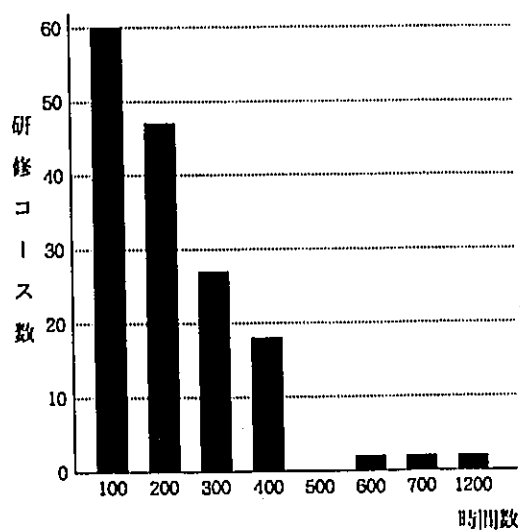
受入形態別日本語研修人数



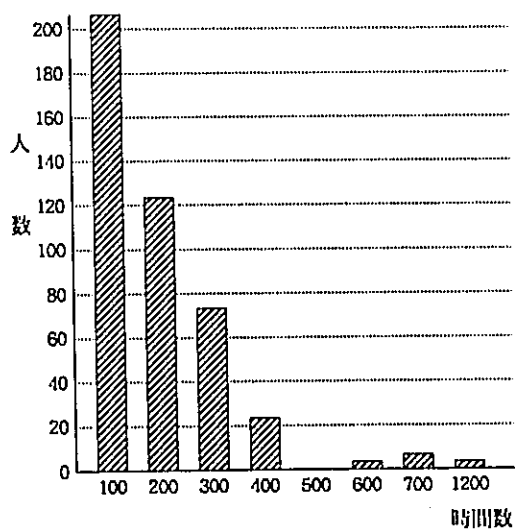
表(2) 日本語研修時間数別分類

時間数		1H } 100H	101H } 200H	201H } 300H	301H } 400H	401H } 500H	501H } 600H	601H } 700H	701H } 1200H	合計
研修コース数 (パーセント) %	継続	7 (25)	5 (17.9)	12 (42.8)	4 (14.3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (100)
	新規	60 (39)	47 (30.5)	26 (16.9)	18 (11.8)	0 (0)	1 (0.6)	1 (0.6)	1 (0.6)	154 (100)
人数 (パーセント) %	継続	7 (10.6)	21 (31.8)	32 (48.5)	6 (9.1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	66 (100)
	新規	210 (47.8)	125 (28.5)	74 (16.9)	24 (5.5)	0 (0)	1 (0.2)	4 (0.9)	1 (0.2)	439 (100)

研修コースの時間数別分類



人数の時間数別分類

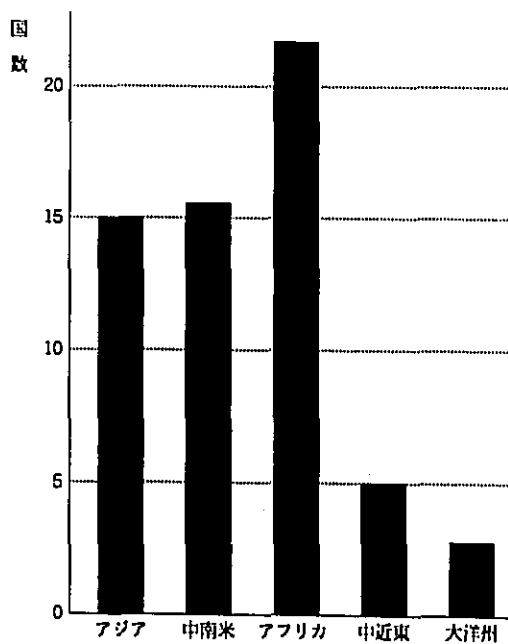


表(3) 地域別及び国別分布状況

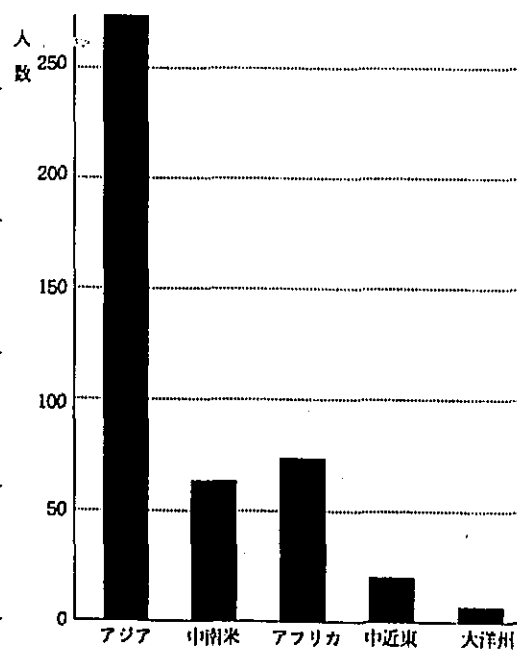
地域別分布

地 域	国 数	%	人 数	%
ア ジ ア	15	24.2	276	62.9
ア フ リ カ	23	37.1	72	16.4
中 南 米	16	25.8	65	14.8
中 近 東	5	8.1	19	4.3
大 洋 州	3	4.8	7	1.6
合 計	62	100	439	100

国数で見る地域別分布



人数で見る地域別分布



国別分布（アジア15か国）

（ ）内の数字は前年度より継続分

国名	人数	国名	人数
中国	87 (24)	バングラデシュ	9 (1)
タイ	43 (4)	シンガポール	6
インドネシア	37 (9)	韓国	6 (1)
フィリピン	24 (2)	ネパール	4
マレーシア	16	インド	3 (1)
スリランカ	14 (3)	モルディブ	2
パキスタン	13 (1)	香港	2
ビルマ	10 (2)	合計	276 (48)

国別分布（アフリカ23か国）

国名	人数	国名	人数
ケニア	16	マダガスカル	2
ガーナ	8	マリ	1
スーダン	5	中央アフリカ	1
セネガル	5	ガボン	1
カメルーン	5	ザイール	1
ナイジェリア	4	モロッコ	1
タンザニア	4 (1)	象牙海岸	1
リベリア	3	セーシェル	1
赤道ギニア	3	コートジボアール	1
ザンビア	3	ニジェール	1
ウガンダ	2	ベナン	1
レソト	2	合計	72 (1)

国別分布（中南米16か国）

（ ）内の数字は前年度より継続分

国名	人数	国名	人数
パラグアイ	12 (5)	ホンジュラス	2
ブラジル	9 (3)	チリ	1
ペルー	9 (2)	コスタリカ	1
メキシコ	6 (2)	エクアドル	1
アルゼンチン	6 (1)	ニカラグア	1
コロンビア	5 (1)	エルサルバドル	1
ポリビア	5	ハイチ	1
パナマ	3		
ウルグアイ	2 (1)	合計	65 (15)

国別分布（中近東5か国）

国名	人数	国名	人数
エジプト	7 (2)	サウジアラビア	2
トルコ	6	バーレーン	1
イラク	3	合計	19 (2)

国別分布（大洋州3か国）

国名	人数	国名	人数
フィジー	4	トンガ	1
パプアニューギニア	2	合計	7

表(4) 日本語能力到達目標別分類

(前年度継続分)

到達目標段階	I/A	II/B	III/C	IV/D	計
研修コース数	13	8	6	1	28
人数	33	10	22	1	66

注) 到達目標の段階と内容

I/A: 挨拶・通勤・食事等生活の基本的な場で日本語による日常会話ができる。

II/B: 現場・実習の場での必要な日本語の指示が理解できる。

III/C: 現場・実習の場での日本語による質疑応答ができる。

IV/D: 日本語による抗議が理解できる。

(62年度分)

到達目標段階	1	2	3	4	5	6	7	8	9
研修コース数	21	56	39	25	5	2	3	0	5
人数	137	117	107	40	13	5	3	0	17

注) 62年度より評価段階がABCDから1~9の評価レベルに変更。評価段階の内容は次ページを参照。

日本語研修設定クラス数及び人数

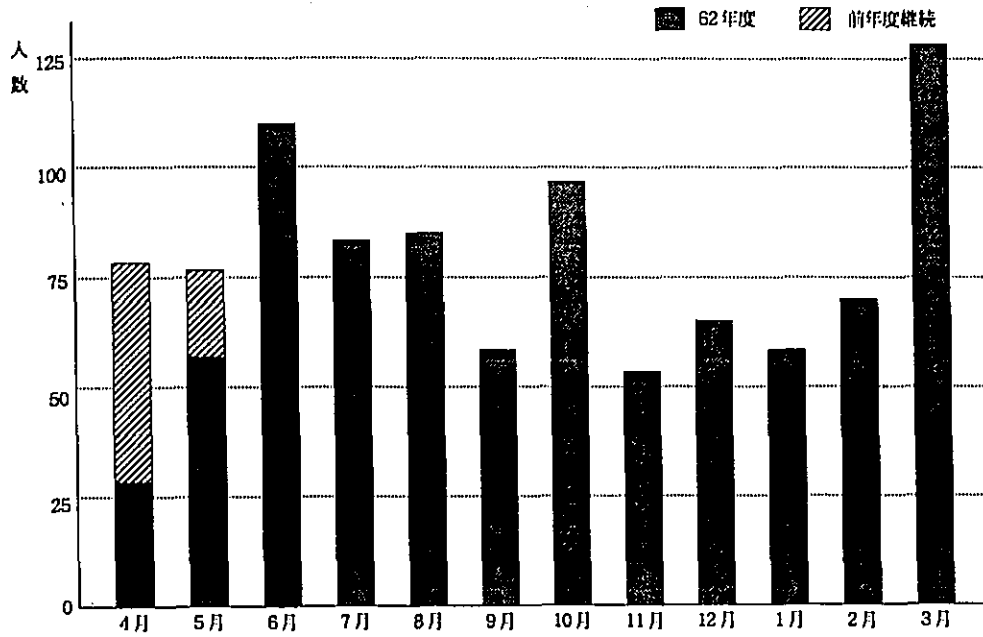
① 設定クラス数 45クラス ② 研修員数 439名(継続分66名外数)

1クラス平均成員数 9.76名

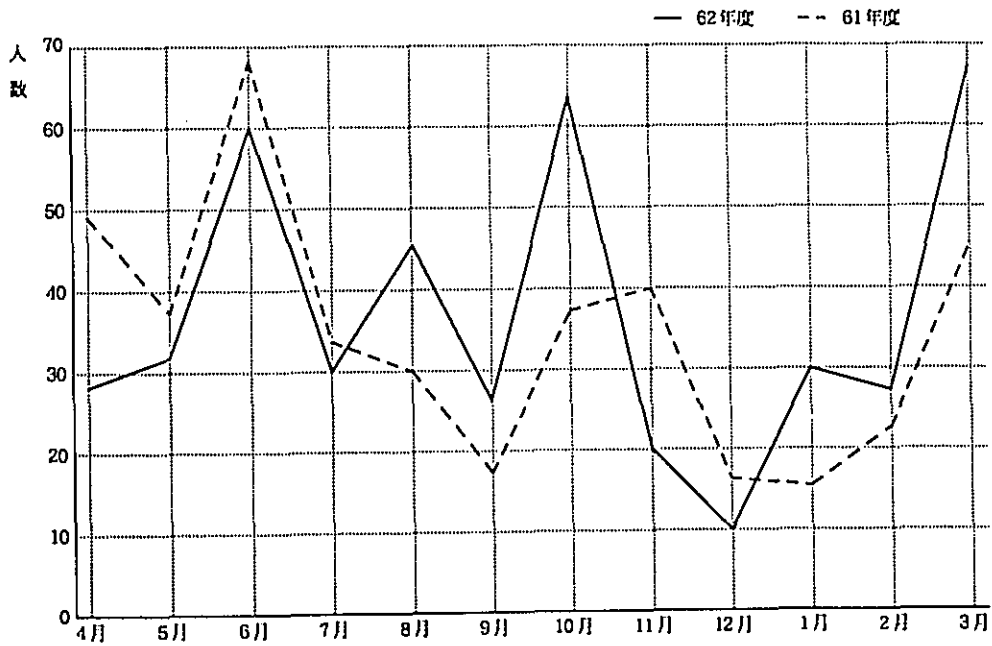
日本語能力評価レベル

評価レベル	日本語能力到達目標(ガイドラインの「到達レベルの内容」と同一内容)	(読む、書く)
1	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前と国籍についての簡単な自己紹介や「おはようございます」等、ごく簡単な挨拶ができる。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 買物や食事の注文等、日常生活の基本的な場面での簡単なやりとりができる。 「ちょっと待って下さい」等、実習現場でのごく簡単な指示が理解できる。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 病気、外出、パーティ等の場面での簡単な会話ができる。 「あそこにありますから、取ってください」等、実習現場での簡単な指示が理解でき、かつ、反応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなとカタカナの読みができる。「ごご8じにセンターへかえります」等、仮名書きの短い分が読め、かつ、書ける。 「出口/入口、危険、注意」等、一部の漢字の標示が理解できる。
4	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活での会話はほぼでき、「いらっしゃいます」等、簡単な敬語も理解できる。 「実習を始めます。はじめに、はさみを使ってここを切ってください」等、実習現場である程度の説明が分かり、かつ、応答ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ある程度まとまった内容をもつ仮名書きの文等が読め、かつ、書ける。 簡単な漢字が多少読める。
5	<ul style="list-style-type: none"> 見たり人から聞いたりしたことを話題として、話し合うことができる。 実習現場で研修内容について簡単な質疑応答ができ、かつ、許可を求めたり、依頼したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 辞書を使って、漢字の読み方や意味を調べることができる。 漢字仮名交じりの短い文章が辞書を引きながら理解でき、かつ、書ける。「～である」等、書き言葉が理解できる。
6	<ul style="list-style-type: none"> 各研修分野での初歩的な表現がほぼ理解できる。 実習現場で研修内容についてある程度の質疑応答ができ、かつ、その内容についてほかの人に簡単な説明ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術研修に関する簡単な文章が読める。 研修に関する簡単なメモや伝言が書ける。
7	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な会話については、一応意志疎通に困難を感じない段階に達する。 各研修分野での基本的な表現がある程度理解でき、実習現場で研修内容に関するやや高度な質疑応答ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学、技術分野における一般的な話題の文章がだいたい理解でき、かつ、簡単なパンフレットや説明書等が読める。 研修に関する簡単な記録や日誌等が書ける。
8	<ul style="list-style-type: none"> ある主題について自分の考えや意見等がある程度述べられる。 研修に関する講義において、その細部は分からなくとも要点をつかむことができる。 各研修分野の専門的な表現や語彙がある程度理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ある主題についての文章が読める。 研修に関する説明のメモが取れる。
9	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野に関して一応話題が進められる。 研修分野に関する講義の内容がほぼ把握でき、実習現場においても、専門的な質疑応答ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各研修分野の専門的な表現や語彙を使った文章がある程度読める。 ある主題について簡単な報告が書ける。

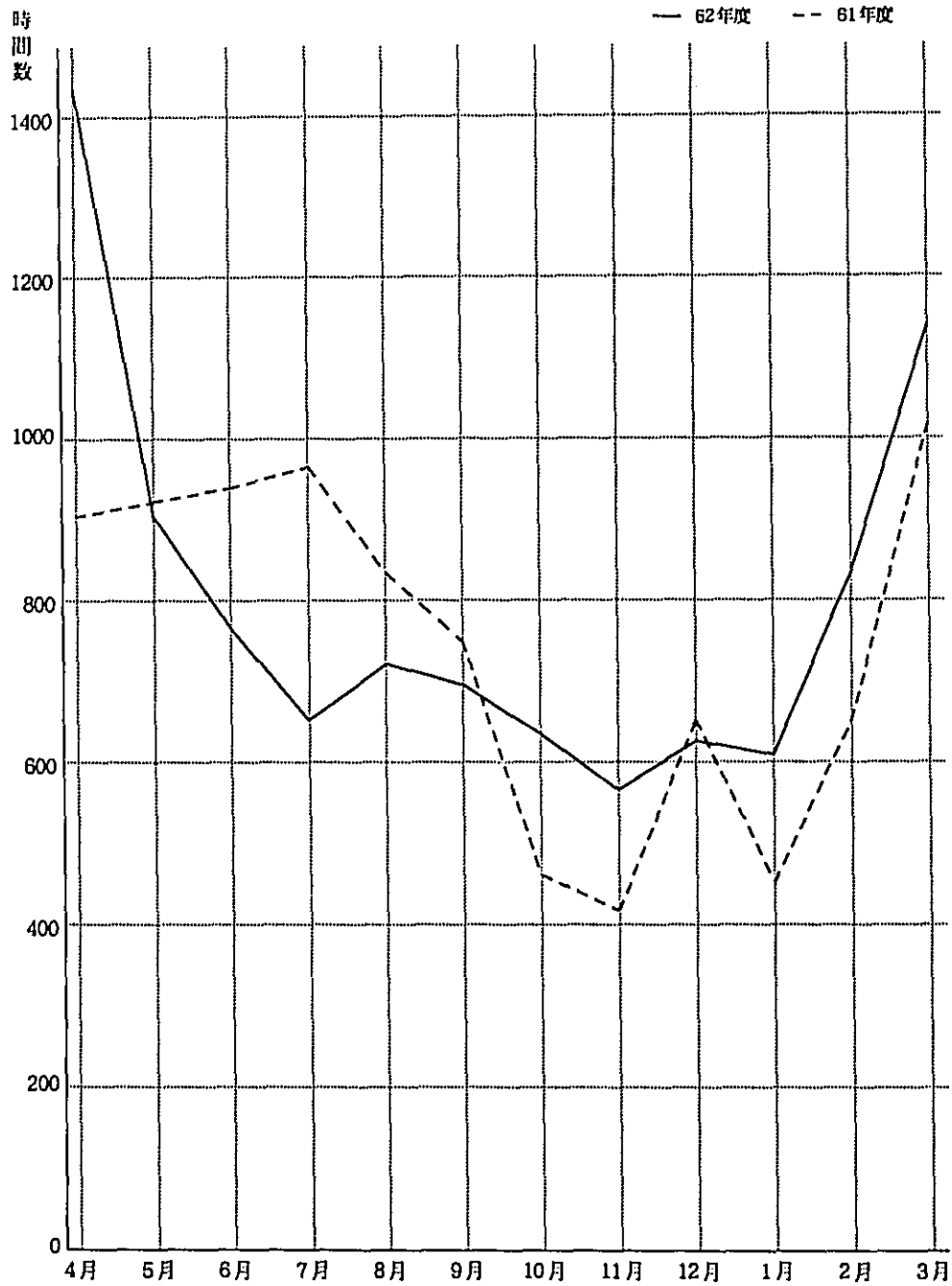
表(5) 月別受講研修員の動き



月別新規受講研修員数の動き



表(6) 月別実施時間数の動き



表(7) 昭和62年度日本語研修クラス設定表

クラス№	人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日本語講習期間
36	10	■												62. 1/13~62. 4/10
37	1	■												62. 1/19~62. 4/ 3
39	9	■												62. 2/ 2~62. 4/18
40	6	■	■											62. 2/ 2~62. 5/ 8
41	4	■	■											62. 2/16~62. 5/15
42	10	■	■											62. 3/ 2~62. 4/ 3
43	1	■	■											62. 3/ 2~62. 4/ 3
44	5	■	■											62. 3/ 2~62. 4/ 3
45	3	■	■											62. 3/ 9~62. 5/15
46	6	■	■											62. 3/11~62. 5/15
47	10	■	■											62. 3/16~62. 5/29
1	5	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 4/ 6~63. 3/25
2	9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 4/ 6~62. 5/ 8
3	14	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 4/22~62. 6/17
4	1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 5/11~62. 5/29
5	6	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 5/11~62. 6/26
6	7	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 5/11~62. 6/26
7	8	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 5/25~62. 7/24
8	10	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 5/28~62. 6/12
9	8	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 6/ 1~62. 8/28
10	9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 6/ 1~62. 6/19
11	5	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 6/22~62. 9/18
12	9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 6/22~62. 7/ 3
13	9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 6/22~62. 7/ 3
14	11	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 6/22~62. 7/17
15	9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 6/29~62. 7/31
16	15	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 7/20~62. 8/ 7
17	5	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 7/20~62. 9/ 4
18	10	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 7/30~62.10/ 9
19	15	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 8/ 3~62. 8/28
20	15	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 8/10~62. 8/21
21	16	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	62. 8/17~62.10/ 9

クラス№	人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日本語講習期間
22	11						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62. 9/ 7~62.10/ 2
23	9						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62. 9/ 7~62.10/ 9
24	5						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62. 9/21~62.11/27
25	15						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.10/ 7~62.12/ 1
26	15						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.10/ 5~62.10/30
27	13						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.10/ 5~62.12/25
28	9						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.10/19~62.11/13
29	12						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.10/19~63. 4/ 8
30	6						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.11/ 2~63. 1/ 8
31	8						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.11/24~63. 1/29
32	7						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.11/24~63. 2/29
33	9						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.12/14~63. 6/17
34	1						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	62.12/22~63. 1/29
35	15						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 1/18~63. 4/ 8
36	10						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 1/18~63. 4/15
37	5						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 1/25~63. 3/18
38	8						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 2/ 1~63. 4/28
39	10						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 2/15~63. 4/ 8
40	9						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 2/15~63. 5/20
41	27						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 3/ 7~63. 6/ 3
42	6						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 3/14~63. 3/18
43	12						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 3/14~63. 4/15
44	11						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 3/22~63. 5/ 2
45	11						9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	9. 7	63. 3/22~63. 6/24
クラス数		11	9	8	7	6	6	6	6	6	7	8	10	最高クラス数 12
月別時間数		818	635	776	652.5	742.5	700	622	571.5	636.5	610	838.5	1158.5	平均クラス数 7.4
														最低クラス数 5
														合計 8761

昭和62年度 日本語研修集中講習実施一覽表

コース番号	コースの種類	研修コース名		国名		日本語研修		全研修期間	備考
		コース名	国名	人数	日本語講習期間	日本語講習時間数			
(1)	集団	船舶技術(B)	アルゼンチン他10か国	11	62. 1/13~62. 4/10	24	62. 1/ 5~62. 12/24	61年度継続分(船外)	
(2)	個c.p	職業訓練(工作技術)	ペルー	1	62. 1/19~62. 4/ 3	15	62. 1/12~63. 1/30	61年度継続分	
(3)	集団	研究開発技術	ブラジル他5か国	9	62. 2/ 2~62. 4/18	40	62. 1/26~63. 1/24	"	
(4)	個c.p	林業開発(製材及び加工)	パラグアイ	1	62. 2/ 2~62. 5/ 8	125	62. 1/26~62. 10/17	"	
(5)	個c.p	農業開発(遺伝資源)	パラグアイ	1	62. 2/ 2~62. 5/ 8	125	62. 1/19~62. 12/15	"	
(6)	個c.p	職業訓練	インドネシア	3	62. 2/ 2~62. 5/ 1	110	62. 1/26~62. 9/ 2	"	
(7)	個c.p	稲育種	ペルー	1	62. 2/ 2~62. 5/ 1	110	62. 1/26~62. 12/19	"	
(8)	個c.p	農業研究	インドネシア	3	62. 2/16~62. 4/ 3	15	62. 2/11~62. 9/13	"	
(9)	個・単	鉱産物検査研究	中国	1	62. 2/20~62. 5/15	150	62. 2/10~62. 9/30	"	
(10)	個c.p	木材総合利用研究(電気式制御技術)	中国	1	62. 3/ 2~62. 4/ 3	15	62. 2/25~62. 12/19	"	
(11)	個c.p	中日友好病院	中国	9	62. 3/ 2~62. 4/ 3	15	62. 2/25~62. 8/26	"	
"	"	中日友好病院	中国	1	62. 3/ 2~62. 4/ 3	15	62. 2/25~62. 8/26	"	
"	"	中日友好病院	中国	5	62. 3/ 2~62. 4/ 3	15	62. 2/25~62. 8/26	"	
(12)	個・単	鉱産物検査研究	中国	1	62. 3/ 9~62. 5/15	150	62. 3/ 3~62. 9/30	"	
(13)	個c.p	金属加工(教育機材)	タイ	1	62. 3/ 9~62. 5/ 8	125	62. 3/ 3~62. 7/14	"	
(14)	個c.p	ジャヤワルダナプラ総合病院(内視鏡)	スリランカ	1	62. 3/ 9~62. 4/10	40	62. 3/ 2~62. 9/ 1	"	
(15)	個c.p	昆布乾燥・食品加工	中国	1	62. 3/16~62. 5/15	150	62. 3/10~62. 8/26	"	
(16)	個・単	鉱産物検査研究	中国	2	62. 3/16~62. 5/15	150	62. 3/10~62. 9/30	"	
(17)	個c.p	耕地微気象の研究方法	中国	1	62. 3/11~62. 5/15	150	62. 3/10~62. 12/23	"	
(18)	個c.p	展示場設計施工	中国	1	62. 3/26~62. 4/17	65	62. 3/24~62. 12/23	"	
(19)	個c.p	土質材料	中国	1	62. 3/26~62. 4/17	65	62. 3/24~62. 12/23	"	
(20)	個c.p	林業開発	パラグアイ	2	62. 3/16~62. 5/29	200	62. 3/ 9~62. 9/ 1	"	
(21)	個c.p	農業機械	パラグアイ	1	62. 3/16~62. 5/29	200	62. 3/12~62. 10/ 4	"	
(22)	個・単	会計検査実務	スリランカ	1	62. 3/16~62. 5/15	150	62. 3/ 9~62. 10/14	"	
(23)	個c.p	ブリケット製造と炭化	タンザニア	1	62. 3/16~62. 4/15	55	62. 3/ 9~62. 7/19	"	
(24)	個c.p	生化学	コロンビア	1	62. 3/16~62. 4/10	40	62. 3/13~62. 4/ 6	"	
(25)	個・単	養蠶	ペルー	1	62. 3/18~62. 4/10	40	62. 3/15~62. 9/ 3	"	
(26)	個・単	水産経済・経営	メキシコ	1	62. 3/16~62. 4/10	40	62. 3/12~63. 3/11	"	
(27)	個c.p	小児集中医療	エジプト	1	62. 3/17~62. 4/10	40	62. 3/15~62. 9/23	"	
(28)	個c.p	果樹研究植物病理学	ウルグアイ	1	62. 3/15~62. 4/ 3	15	62. 3/ 9~62. 7/15	"	

コース番号	コースの種類	研修コース名		ス		日本語研修		全研修期間	備考
		国	名	人数	日本語講習期間	日本語講習時間数			
1	個・GG	電子工学(職訓大)			シンガポール	1	62. 4/ 6~63. 3/25	62. 3/29~63. 3/28	
2	個・単	腫瘍外科			ペルー	1	62. 4/ 6~62. 5/29	62. 3/29~62. 10/ 3	
3	個・GG	薬理学			トルコ	1	62. 4/ 6~62. 5/ 9	62. 3/29~62. 10/ 3	
4	個・GG	日本語研修			タイ	2	62. 4/20~62. 7/17	62. 4/20~62. 7/17	
5	個 c.p	植物生理			ビルマ	1	62. 4/ 7~62. 5/ 8	62. 3/30~62. 9/29	
6	個・単	農業気象学			ペルー	1	62. 4/ 6~62. 5/ 8	62. 3/20~62. 9/29	
7	個・単	野菜種子生産技術			スリランカ	2	62. 4/ 6~62. 5/ 1	62. 3/30~62. 9/ 6	
8	個 c.p	肉類研究と加工技術			中国	2	62. 4/ 6~62. 5/ 1	62. 2/ 9~62. 6/ 9	
9	個 c.p	殺虫剤分析			フィリピン	1	62. 4/ 6~62. 5/ 1	62. 3/29~62. 9/28	
10	個 c.p	食品医薬品検定センター			フィリピン	2	62. 4/ 6~62. 5/ 1	62. 3/29~62. 9/28	
11	集団	犯罪防止(矯正保護)			トルコ他11か国	14	62. 4/22~62. 6/17	62. 4/13~62. 6/22	
12	個 c.p	食品添加物分析			フィリピン	1	62. 5/11~62. 5/29	62. 5/ 5~62. 10/27	館外2時間計10回
13	個・単	経営管理			中国	6	62. 5/11~62. 6/26	62. 5/ 5~62. 12/22	
14	個・単	経営管理			中国	7	62. 5/11~62. 6/26	62. 5/ 5~62. 12/22	
15	集団	家畜人工受精			インドネシア他4か国	5	62. 5/25~62. 6/26	62. 5/18~62. 10/16	
16	個 c.p	ピールス学			ガーナ	1	62. 5/25~62. 6/26	62. 5/18~63. 5/17	
17	集団	新ラングーン総合病院			ビルマ	1	62. 5/25~62. 7/24	62. 5/19~63. 5/18	
18	個 c.p	消防行政			マレーシア他8か国	10	62. 5/28~62. 6/12	62. 5/21~62. 8/ 4	
19	個 c.p	職業訓練			シンガポール	1	62. 6/ 1~62. 8/28	62. 5/26~63. 3/ 2	
20	個 c.p	職業訓練			パナマ	3	62. 6/ 1~62. 8/28	62. 5/26~63. 3/ 2	
21	個 c.p	栄養学			ガーナ	1	62. 6/ 1~62. 7/31	62. 5/25~63. 5/24	
22	個 c.p	家畜細菌学			タイ	1	62. 6/ 1~62. 6/26	62. 5/24~62. 11/23	
23	個 c.p	自然療法リハビリテーションシステム			ペルー	1	62. 6/ 1~62. 6/26	62. 5/21~63. 2/26	
24	集団	園芸開発			ネパール	1	62. 6/ 1~62. 6/26	62. 5/26~62. 12/ 1	
25	個 c.p	生活改善普及			バングラデシュ他7か国	9	62. 6/ 1~62. 6/19	62. 5/25~62. 8/ 9	13日中6日は午後のみ
26	個 c.p	職業訓練			ペルー	2	62. 6/22~62. 9/ 4	62. 6/16~63. 3/ 1	
27	個・GG	物産対策			インドネシア	2	62. 6/22~62. 7/ 3	62. 6/16~62. 12/22	
28	集団	農地水資源開発			韓国	1	62. 6/22~62. 9/18	62. 5/26~63. 5/25	
29	集団	農地水資源開発			ブラジル他6か国	9	62. 6/22~62. 7/ 3	62. 6/15~62. 9/ 6	
30	個 c.p	農地水資源開発			ケニア他6か国	9	62. 6/22~62. 7/ 3	62. 6/15~62. 9/ 6	
31	集団	精神薄弱福祉			パキスタン他7か国	9	62. 6/22~62. 7/17	62. 6/11~62. 12/20	
		木材生産技術訓練法			タイ	2	62. 6/22~62. 7/17	62. 6/17~62. 9/12	
		受精卵移植技術			パラグアイ他5か国	6	62. 6/29~62. 7/31	62. 6/22~62. 11/ 5	

コース番号	コースの種類	修 研		コ ー ス 名		ス 国		日 本 語 研 修		全 研 修 期 間	師 考	
		人数	日本語講習期間	日本語時間数	人数	国 名	人数	日本語講習期間	日本語時間数			
32	個 c.p	動物医薬品検定計画			インドネシア			3	62. 6/30~62. 7/24	95	62. 6/22~63. 1/19	
33	集 団	森林造成技術者			ビルマ他14か国			15	62. 7/20~62. 8/ 7	50	62. 7/13~62. 10/22	7/27~8/7午前のみ
34	個 c.p	植物病理			ハンガリー			1	62. 7/20~62. 9/ 4	175	62. 7/13~62. 1/16	
35	個 c.p	大豆病理			アルゼンチン			1	62. 7/20~62. 8/20	120	62. 7/13~62. 12/21	
36	個 c.p	金風加工			タイ			1	62. 7/20~62. 8/21	125	62. 7/14~62. 12/22	
37	個 c.p	水供給施設保守管理			ザイール			1	62. 7/23~62. 8/14	85	62. 7/14~62. 12/ 9	
38	個 c.p	稲作研究開発			フィジー			1	62. 7/20~62. 7/31	50	62. 7/12~62. 11/ 3	
39	個 c.p	核医学			中国			1	62. 7/30~62. 10/ 9	250	61. 10/15~62. 10/14	
40	個 c.p	看護教育			タイ			2	62. 7/30~62. 10/ 2	225	62. 7/23~63. 6/22	
41	集 団	選抜製練			アルゼンチン他5か国			7	62. 7/30~62. 10/ 2	225	62. 7/23~63. 8/14	
42	個 c.p	土壌研究			パラグアイ			1	62. 8/ 3~62. 10/30	315	62. 7/27~63. 3/ 1	
43	個 c.p	イスラマバード小児病院			パキスタン			1	62. 8/ 3~62. 8/28	100	62. 7/30~63. 2/ 3	
44	集 団	補装具製作技術			中国他4か国			6	62. 8/ 3~62. 8/28	100	62. 7/27~62. 12/16	
45	個 c.p	薬品品質管理			インドネシア			2	62. 8/ 3~62. 8/28	100	62. 7/27~63. 2/26	
"	"	薬品品質管理			インドネシア			1	62. 8/ 3~62. 8/28	100	62. 7/27~64. 7/26	
46	個 c.p	農業普及関係協力c/p合同			インドネシア他2か国			4	62. 8/ 3~62. 8/14	50	62. 7/27~62. 10/23	
47	集 団	農業普及			カーナ他8か国			15	62. 8/10~62. 8/21	50	62. 8/ 3~62. 11/15	
48	個 c.p	ジョモケニヤクタ農工大			ケニア			3	62. 8/17~62. 10/ 9	190	62. 8/11~63. 10/ 1	
"	"	ジョモケニヤクタ農工大			ケニア			2	62. 8/17~62. 10/ 2	165	62. 8/11~63. 10/ 1	
"	"	ジョモケニヤクタ農工大			ケニア			1	62. 8/17~62. 10/ 2	165	62. 8/11~63. 3/30	
49	個 c.p	土壌研究			パラグアイ			1	62. 8/17~62. 9/30	165	62. 8/10~63. 3/ 1	
50	個 c.p	工業計装技術			ブラジル			1	62. 8/17~62. 9/11	100	62. 8/10~62. 12/20	
51	個 c.p	特許情報検索			中国			7	62. 8/17~62. 9/11	100	62. 8/11~63. 4/23	
52	個・国際	養殖技術			フィリピン			1	62. 8/17~62. 9/ 4	75	62. 8/10~62. 12/14	
53	個 c.p	水道技術訓練			タイ			5	62. 9/ 7~62. 10/ 2	90	62. 9/ 1~63. 2/29	
54	集 団	救急救助技術			ブラジル他4か国			6	62. 9/ 7~62. 9/18	45	62. 9/ 1~62. 11/30	
55	個 c.p	レトルト食品加工			中国			1	62. 9/ 7~62. 10/ 9	115	62. 9/ 1~63. 3/ 8	
56	個 c.p	自動車整備			ホンジュラス			1	62. 9/ 7~62. 10/ 2	90	62. 9/ 1~63. 3/30	
57	個・単	コンタクトレンズ製作			スリランカ			2	62. 9/ 7~62. 10/ 2	90	62. 9/ 1~63. 3/10	
58	個 c.p	スラバヤ電子工学			インドネシア			5	62. 9/ 7~62. 10/ 2	90	62. 9/ 3~63. 3/29	
59	個 c.p	金風加工			タイ			1	62. 9/21~62. 11/27	235	62. 9/17~63. 6/28	
60	個 c.p	フィリピン工科大学			フィリピン			4	62. 9/21~62. 11/20	215	62. 9/14~63. 9/13	
61	集 団	犯罪防止(刑事司法)			レソト他12か国			15	62. 10/ 7~62. 12/ 1	22.5	62. 9/28~62. 12/ 7	館外1.5H.15回

コース番号	コースの種類	研修コース名		ス		人数	日本語研修		全研修期間	備考
		コース名	国名	国名	日本語講習期間		日本語講習人数			
62	個c.p	小児集中医療(カイロ大学小児病院)	エジプト		1	62.10/5~62.10/30	100	62.9/29~63.4/27		
63	個・単	空港用自動車整備技術	モルジブ		2	62.10/5~62.10/30	100	62.9/28~63.8/3		
64	個c.p	小児看護(イスママバード小児病院)	パキスタン		1	62.10/5~62.10/30	100	62.9/29~63.4/30		
65	個・単	科学技術	フィリピン		2	62.10/5~62.10/30	100	62.9/29~63.3/3		
66	集団	結核対策細菌技術	中国他4か国		5	62.10/5~62.10/23	75	62.9/28~63.2/15		
67	個c.p	結核対策細菌技術	ネパール		1	62.10/5~62.10/23	75	62.9/28~63.2/15		
68	個・国際	結核対策細菌技術	インド		1	62.10/5~62.10/23	75	62.9/28~63.2/15		
69	個c.p	臨床検査	パラグアイ		2	62.10/5~62.10/23	75	62.9/29~63.9/25		
70	集団	専門看護	セيشェル他7か国		8	62.10/5~62.12/25	290	62.9/28~63.7/27	12/18合宿研修	
71	個c.p	肉類研究と加工技術	中国		1	62.10/5~62.11/13	145	62.9/29~63.3/23		
72	個c.p	木材総合利用研究	中国		3	62.10/5~62.10/30	100	62.9/28~63.6/26		
"	個c.p	木材総合利用研究	中国		1	62.10/5~62.10/30	100	62.9/28~63.6/26		
73	個c.p	補綴具製作技術	タイ		1	62.10/19~62.11/13	95	62.10/13~63.7/20		
74	個c.p	劣質リハビリテーションセンター(物理療法)	タイ		1	62.10/19~62.11/13	95	62.10/13~63.3/25		
75	個c.p	食品医薬品検定	フィリピン		1	62.10/19~62.11/13	95	62.10/13~63.3/29		
76	個・単	人造り技術協力	パキスタン		6	62.10/19~62.10/30	50	62.10/13~63.1/26		
77	個・単	パーソナル・コンピューター	スーダン		1	62.10/26~63.4/8	515	62.10/21~63.7/3	1週間来日遅れ	
78	個・GG	日本語研修	タイ		2	62.10/19~63.1/22	305	62.10/5~63.1/22		
79	個c.p	CIASST 職業訓練	マレーシア		6	62.10/19~62.12/25	240	62.10/12~63.7/7		
80	個・単	鉱産物検査研究	中国		1	62.10/19~62.12/25	240	62.11/14~63.4/6		
81	個c.p	水産加工	中国		1	62.10/19~62.11/20	120	62.10/13~63.3/24		
82	個c.p	鼠布加工	中国		1	62.10/19~62.11/20	120	62.10/13~63.2/11		
83	個c.p	金属加工(農業技術設計)	タイ		1	62.11/2~63.1/8	205	62.10/27~63.4/26		
84	個c.p	職業訓練	インドネシア		2	62.11/2~62.12/25	190	62.10/27~63.3/28		
"	"	職業訓練	インドネシア		1	62.11/9~62.12/25	170	62.11/5~63.3/28		
85	個c.p	ツツラ職業訓練高校	トルコ		2	62.11/2~62.12/25	190	62.10/27~63.7/13		
86	集団	えび増養殖技術	中国他7か国		8	62.11/24~63.1/29	202.5	62.11/16~63.8/22		
87	個c.p	分析化学	タイ		1	62.11/24~63.2/29	310	62.11/17~63.10/30		
88	個c.p	劣質リハビリテーションセンター(木工・金工)	タイ		2	62.11/24~63.2/26	305	62.11/17~63.7/30		
89	個c.p	家族計画	コロンビア		1	62.11/24~62.12/25	120	62.11/19~63.3/4		
90	個c.p	劣質リハビリテーションセンター(化学分析)	インドネシア		2	62.11/24~62.12/25	120	62.11/19~63.5/10		
91	個c.p	職業訓練	インドネシア		1	62.11/24~62.12/25	120	62.11/17~63.2/29		
92	個c.p	職業訓練	セネガル		4	62.12/14~63.6/17	350	62.12/8~63.12/21		

コース番号	コースの種類	研修コース名			国名	人数	日本語研修		全研修期間	備考
		コース名	国名	日本語講習期間			日本語時間数			
93	個・c.p	フィリピン工科大学	フィリピン	2	62.12/14~63.2/12	185	62.12/7~63.12/6			
94	個・c.p	化学工業研究開発センター(化学工業実験)	インドネシア	1	62.12/14~63.1/29	140	62.12/8~63.5/31			
95	個・c.p	ブライマリーヘルスケア(情報システム)	タイ	1	62.12/14~63.1/29	140	62.12/24~63.5/21			
96	個・c.p	SPF適合管理運営	マレーシア	1	62.12/14~63.1/22	115	62.12/7~63.5/31			
97	個・単	日本語研修	中国	1	62.12/22~63.1/29	32.5	62.8/5~63.2/1	1:30~4:00		
98	集団	船舶技術	アルゼンチン他13か国	15	63.1/18~63.4/8	202	63.1/7~63.12/20	船外19日以降午前0時30分		
99	個・c.p	農業開発(機械修理)	パラグアイ	1	63.1/18~63.4/15	260	63.1/11~63.8/23			
100	個・c.p	農業気象	パラグアイ	1	63.1/18~63.4/15	260	63.1/11~63.9/23			
101	個・単	産産物検査研究	中国	1	63.1/18~63.4/15	260	63.1/12~63.7/19			
102	個・c.p	寄生虫学	タイ	1	63.1/18~63.2/12	95	63.1/10~63.7/9			
103	個・c.p	日本・シンガポール技術学院(工業電子)	シンガポール	1	63.1/18~63.4/15	260	63.1/11~63.10/19			
104	個・c.p	新生児集中医療	スリランカ	1	63.1/18~63.2/12	95	63.1/11~63.5/18			
105	個・単	機械工学	ビルマ	1	63.1/18~63.2/12	95	63.1/11~63.8/17			
106	個・c.p	自動車整備	フィジー	1	63.1/18~63.4/1	260	63.1/11~63.10/19			
107	個・c.p	ウィルス学	ネパール	1	63.1/19~63.3/18	210	63.1/17~63.12/22			
108	個・GG	中長期経済成長	韓国	1	63.1/18~63.3/31	260	63.1/18~64.1/10			
109	集・特	小児専門医療	タイ他4か国	5	63.1/25~63.3/18	180	63.1/14~63.9/22			
110	個・c.p	医療実験技術	スリランカ	1	63.2/1~63.2/26	95	63.1/25~63.12/26			
111	個・c.p	免疫学	コロンビア	1	63.2/1~63.3/4	120	63.1/26~64.1/23			
112	個・c.p	研究開発技術	タイ	1	63.2/1~63.3/4	120	63.1/25~63.4/27			
113	個・c.p	職業訓練(電子)	インドネシア	1	63.2/1~63.4/1	210	63.1/26~63.6/28			
114	個・c.p	ニジマス養殖	シリア	1	63.2/1~63.4/1	210	63.1/25~63.8/5			
115	個・単	研究開発技術(森林土壌)	中国	1	63.2/1~63.4/28	210	63.1/25~63.12/20			
116	個・c.p	南部アフリカ人造りセンター	ザンビア	2	63.2/1~63.4/28	210	63.1/26~64.1/25			
117	個・c.p	ジョモケニヤッタ農工大学	ケニア	2	63.2/15~63.4/8	162.5	63.2/9~64.3/26			
118	集団	研究開発技術	ブラジル他7か国	8	63.2/15~63.4/8	162.5	63.2/8~64.2/5	1名来日遅37~		
119	個・c.p	ラングーン総合病院	ビルマ	2	63.2/15~63.3/31	165	63.1/26~63.12/23			
120	個・c.p	商品検査	中国	1	63.2/15~63.4/14	165	63.2/8~63.7/19			
121	個・c.p	浮魚のマリンビーフ	中国	1	63.2/15~63.3/11	100	63.2/8~63.7/17			
122	個・単	科学技術政策	韓国	1	63.2/15~63.5/20	165	63.2/8~64.2/7			
123	個・c.p	船舶機関	マダガスカル	1	63.2/16~63.4/1	160	63.2/13~63.7/19			
124	個・c.p	職業訓練(機械)	インドネシア	1	63.2/15~63.5/13	165	63.2/9~63.9/20			
125	個・c.p	家畜衛生	パラグアイ	1	63.2/15~63.5/13	165	63.2/8~63.11/16			

コース番号	コースの種類	研修			ス	国	名	人数	日本語研修		全研修期間	備考
		コース名	国	名					日本語講習期間	日本語時間数		
126	個・c.p	集中看護				ポリビア	1	63. 2/15~63. 3/11	100	63. 2/11~63. 8/ 2		
127	個・c.p	スマートラ化学工業研究開発センター				インドネシア	1	63. 3/ 7~63. 3/25	70	63. 3/ 1~63. 6/25		
128	個・c.p	肉類研究・加工				中国	1	63. 3/ 7~63. 4/15	90	63. 2/29~63. 9/11		
129	個・c.p	農業研究				インドネシア	1	63. 3/ 7~63. 4/22	90	63. 2/29~63. 11/ 2		
130	個・c.p	ウィルス学				ガーナ	1	63. 3/ 7~63. 4/ 1	90	63. 2/29~64. 2/27		
131	個・c.p	三江平原農業総合試験場				中国	1	63. 3/ 7~63. 4/ 1	90	63. 3/ 1~64. 11/23		
132	個・c.p	肉類研究・加工 (風味化学)				中国	1	63. 3/ 7~63. 5/13	90	63. 2/29~64. 9/11		
133	個・c.p	中日友好病院				中国	20	63. 3/ 7~63. 4/ 8	90	63. 3/ 1~63. 8/31		
134	個・単	ボーリング機器				中央アフリカ	1	63. 3/ 7~63. 6/ 3	90	63. 3/ 1~63. 10/ 5		
135	集・特	魚類生理防疫				アルゼンチン他4か国	6	63. 3/14~63. 3/18	25	63. 3/ 3~63. 6/22		
136	集・特	米生産				ギニア他7か国	8	63. 3/14~63. 4/28	65	63. 3/ 9~64. 10/29	2名来日遅れ	
137	個・c.p	園芸開発				ケニア	2	63. 3/14~63. 4/ 8	65	63. 3/ 6~63. 12/ 4		
138	個・単	輸出計画促進				ビルマ	2	63. 3/14~63. 4/15	65	63. 1/14~63. 7/19		
139	個・単	漁業				カメルーン他1か国	5	63. 3/22~63. 4/15	40	63. 3/14~63. 10/18		
140	個・c.p	三江平原農業総合試験場 (作物生理)				中国	1	63. 3/22~63. 5/ 2	40	63. 3/ 8~63. 8/12		
141	個・c.p	動物ウィルス学				インドネシア	1	63. 3/22~63. 4/15	40	63. 3/14~63. 9/20		
142	個・c.p	カキ養殖				マレーシア	1	63. 3/22~63. 4/ 8	40	63. 3/18~63. 7/19		
143	個・単	園芸				タイ	1	63. 3/22~63. 4/15	40	63. 3/15~63. 6/23		
144	個・c.p	三江平原農業総合試験場 (人工気象)				中国	1	63. 3/22~63. 4/15	40	63. 3/14~63. 12/13		
145	個・c.p	三江平原農業総合試験場 (排水)				中国	1	63. 3/22~63. 4/15	40	63. 3/14~63. 12/13		
146	個・c.p	ウィルス学				ケニア	1	63. 3/22~63. 4/28	40	63. 3/14~64. 3/13		
147	個・c.p	野菜栽培				ペルー	1	63. 3/22~63. 6/24	40	63. 3/15~63. 10/29		
148	個・c.p	機材保守				ケニア	1	63. 3/22~63. 4/28	40	63. 3/14~63. 11/ 2		
149	個・c.p	造林				パラグアイ	3	63. 3/22~63. 6/ 3	40	63. 3/13~63. 9/11		
150	個・c.p	虫害				ウルグアイ	1	63. 3/22~63. 6/ 3	40	63. 3/14~63. 10/ 4		
151	個・c.p	林業機械				タイ	1	63. 3/22~63. 5/13	40	63. 3/14~63. 7/13		
152	個・c.p	CIASST自動車整備				マレーシア	1	63. 3/22~63. 5/27	40	63. 3/15~63. 12/14		
153	個・c.p	作物病害				パラグアイ	1	63. 3/22~63. 6/24	40	63. 3/13~63. 11/ 1		
154	個・c.p	スマートラ化学工業 (運営管理)				インドネシア	1	63. 3/22~63. 5/ 2	40	63. 3/ 8~63. 8/12		
(28)		前年度継続分合計					(66)		(2449)			
154		6 2 年度合計					439		22719. 5			
182		総					505		25168. 5			

一般講習

一般講習は、技術研修の課外活動の一つとして研修員の自由参加により実施しており、日常生活（外出、買い物など）及び日本人との交流を円滑にし、日本文化・習慣の理解を促進することを目的としている。

クラスは従来、レベルに応じて初級、中級、上級に分けて行なっていたが、7月より入門、基礎、応用、上級の4コースに区分して実施した。研修期間は、入門コースが9回（13.5時間）と基礎、応用、上級コースがそれぞれ2ヶ月（36時間）とした。

授業は通常月曜日から水曜日まで毎日1時間半（午後6：30～8：00時まで）行なっている。

一般講習の場合は、自由参加であるため、講習が進むにしたがって漸減していく傾向にあるが、出席率が終了時60％以上に達した研修員に対しては、参加証書を授与している。

一般講習で使用するテキスト、教材は、JICAが開発した共通テキスト、Simple Conversation in Japanese、絵教材、VTR教材等である。



一般講習：ビデオ教材を中心とした「入門コース」の授業風景

一般講習実施一覧表

年間クラス設定表

レベル	クラス番	62年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	63年1月	2月	3月	備考
初級	22	9												61年継続 "
	23	23												
	24	6	13											
	1	20	3											
	2	6	17	30										
	3	18	9											
中級	4	1	23	6										63年度継続
	5		15											
	6	6	3											
	1	1	23											
	2													
	3	1												
上級	1						28		24			2		63年度継続
	2							1			4			
	3													
	4													
入門	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
基礎	6													
	7													
	8													
	9													
	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
応用	6													63年度継続
	1													
	2													
	3													
	4													
	5													

1. 旧システム

レベル	クラス番号	講習期	間	日数	時間数	登録者数	参加者数	備考
初級	(22)	62. 2.16~62. 4. 9		(6)	(9)	(7)	(7)	61年度からの継続分
"	(23)	62. 3. 2~62. 4.23		(14)	(21)	(8)	(7)	"
"	(24)	62. 3.16~62. 5.13		(22)	(33)	(7)	(6)	"
"	1	62. 4. 6~62. 6. 3		32	48	22	18	
"	2	62. 4.20~62. 6.17		32	48	14	14	
"	3	62. 5. 6~62. 6.30		32	48	32	32	
"	4	62. 5.18~62. 7. 9		32	48	31	31	
"	5	62. 6. 1~62. 7.23		32	48	30	29	
"	6	62. 6.15~62. 8. 6		32	48	29	27	
小計	6 (3)			192 (42)	288 (63)	158 (22)	151 (20)	
中級	1	62. 4. 6~62. 6. 3		32	48	19	16	
"	2	62. 6. 1~62. 7.23		32	48	10	9	
小計	2			64	96	29	25	
上級	1	62. 6. 1~62. 7.23		32	48	11	11	
小計	1			32	48	11	11	
合計	9 (3)			288 (42)	432 (63)	198 (22)	187 (20)	

2. 新システム

入門コース

LESSON	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	71名(4回)	88名(5回)	102名(4回)	41名(4回)	22名(5回)	0名(0回)	4名(1回)	40名(5回)	12名(3回)	380
2	62(4回)	92(4回)	102(4回)	49(4回)	22(4回)	4(1回)	5(1回)	48(4回)	19(5回)	403
3	70(4回)	98(4回)	85(4回)	50(4回)	26(4回)	1(1回)	4(1回)	40(4回)	19(5回)	388
4	38(4回)	92(5回)	77(4回)	53(4回)	21(5回)	0(0回)	12(1回)	43(5回)	10(3回)	346
5	46(4回)	81(4回)	72(4回)	58(4回)	20(4回)	4(1回)	9(1回)	35(4回)	16(5回)	341
6	41(4回)	81(4回)	68(4回)	56(4回)	18(4回)	4(1回)	13(1回)	24(4回)	22(5回)	327
7	18(4回)	87(5回)	62(4回)	63(4回)	13(5回)	0(0回)	14(1回)	22(5回)	14(3回)	293
8	29(4回)	61(4回)	70(4回)	57(4回)	17(4回)	4(1回)	16(1回)	16(4回)	19(5回)	289
9	34(4回)	51(4回)	80(4回)	55(4回)	22(4回)	3(1回)	17(1回)	12(4回)	21(5回)	295
小計	409	726	718	482	181	2	94	280	152	3,062
修了者	11	49	48	51	16	5	7	13	18	218
申込者	109	96	138	59	25	4	39	41	26	537

() 内の数字は実施回数

基礎、応用、上級の各コース

レベル	クラス番号	講 習 期 間	日 数	時間数	登録者数	参加者数	備 考
基礎	1	62. 7.27~62. 9.21	24	36	15	15	
"	2	62. 8.24~62.10.20	24	36	28	22	
"	3	62. 9. 7~62.11. 4	24	36	23	20	
"	4	62. 9.28~62.11.24	24	36	16	16	
"	5	62.10.26~62.12.22	24	36	14	14	
"	6	62.11.30~63. 2. 1	24	36	14	14	
"	7	63. 1. 5~63. 2.29	24	36	5	5	
"	8	63. 2. 1~63. 3.28	24	36	12	11	
"	9	63. 3. 1~63. 4.26	13	19.5	5	5	63年度に継続
小 計	9		205	307.5	132	122	
応 用	1	62. 8. 3~62. 9.29	23	34.5	13	12	
"	2	62.10.26~62.12.22	24	36	17	15	
"	3	62.11.30~63. 2. 1	23	34.5	2	2	
"	4	63. 1. 5~63. 2.29	24	36	7	7	
"	5	63. 2. 1~63. 3.28	23	34.5	5	5	
"	6	63. 3. 1~63. 4.26	13	19.5	12	11	63年度に継続
小 計	6		130	195	56	52	
上 級	2	62. 9.28~62.11.24	24	36	12	12	
"	3	62.12. 1~63. 2. 2	24	36	5	5	
"	4	63. 2. 4~63. 4. 4	23	34.5	22	22	63年度に継続
小 計	3		71	106.5	39	39	
合 計	18		406	609	227	213	

(7) 日本語教材開発

本年度は本格的な開発事業を開始して5年目にあたり共通テキスト、分野別テキストおよび補助教材など開発の継続的实施に加え、開発教材の普及および日本語研修の目標設定から日本語研修終了時の評価まで一貫性を持った実施体制の整備にも重点を置くこととした。

即ち、各研修センター・支部の日本語講師間のコミュニケーションおよび日本語指導法の標準化を促進しレベルアップを計ること、日本語研修実施後は研修員の日本語能力を一定の基準で評価するシステムを整備・拡充し、これを受け入れ先に通知すること、研修員の日本語学習後の日本語使用状況を追跡調査するなど、JICAにおける日本語研修体制の基盤を確立することに重点を置き、以下の開発事業等について実施した。

本事業の実施にあたっては、研修事業部の基本方針のもと、前年度同様、日本語テキスト編纂等専門部会の下記の4名の専門委員の指導を仰ぐとともに、各研修センター・支部の協力を得た。開発の実務は（財）国際協力サービス・センターに委託した。

日本語テキスト編纂等専門部会委員

木村宗男（日本語教育学会副会長）

小出詞子（姫路独協大学教授）

斎藤修一（慶応義塾大学教授）

川瀬生郎（東京大学教授）

日本語教材開発事業

1. 50H テキストの作成

入門50H学習のためのテキスト

2. ワークブック（第1分冊用）の作成

初級第1分冊用テキスト学習のためのワークブック

3. 教師用手引き（中級後期－第6分冊用）の作成

昨年度作成した中級後期－第6分冊用の教師用手引き

4. 教師用手引き（農業技術系）の作成

昨年度作成した分野別テキスト（農業技術系）の教師用手引き

5. ビデオ用テキストの作成

作成済みビデオ教材活用のための研修員用テキスト

6. 録音テープ（上級前期－第7分冊）の作成

上級前期 第7分冊用テキストの録音テープ

7. 文法解説書（初級1～3分冊用スペイン語版）の作成

8. 初級テキスト用ワードリストの作成

(1) 第1分冊ローマ字版用アラビア語版

(2) 第1分冊漢字かな混じり版用アラビア語版

(3) 第3分冊漢字かな混じり版用フランス語版、タイ語版、インドネシア語版、スペイン語版

9. 日本語研修の評価システムの整備・拡充

(1) 日本語能力認定試験（聴解）の結果分析

各研修センター・支部での試験結果の分析

(2) 日本語能力認定試験初級読み書き試験問題（2種類）の作成

初級読み書き試験問題（2種類）を新たに作成

10. 技術研修員の日本語学習後の追跡調査

日本語研修実施の質的向上と教材開発事業に資するため、日本語学習後の研修員の日本語使用状況について、アンケートシート（日本語、英語、スペイン語、中国語の各国語版）を作成し、日本語研修の効果に関し、追跡調査した。

11. 共通テキストの改訂準備作業

共通テキスト改訂のための準備作業の一環として、集中講習クラスの授業の一部を担当し、第1～第3分冊の内容項目について分析、整理を行なった。

12. 日本語指導法の標準化と普及

昭和58年度より本事業を開始以来、共通テキスト、分野別テキスト等各種開発されてきた教材は、各研修センター、支部において使用されてきたが、JICAの日本語指導法に関し、各講師を対象に日本語教育研修会、ワークショップ等を61年度に引き続き、実施した。

第1回 神奈川国際水産研修センター（62.8月）

第2回 大阪国際研修センター・兵庫インターナショナルセンター合同
(62.12月)

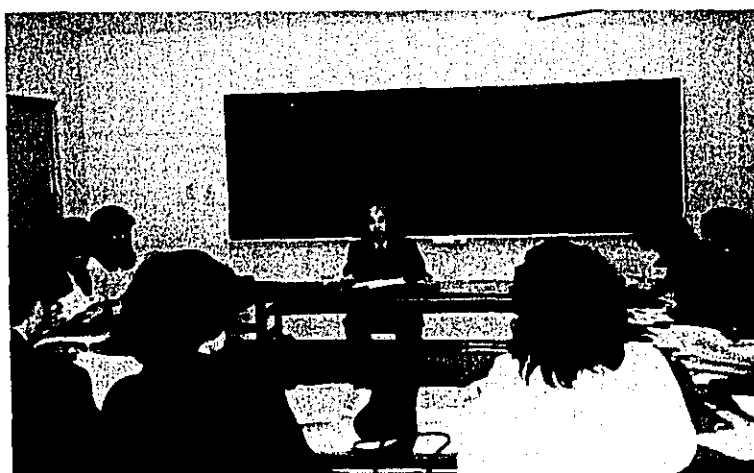
第3回 九州支部 (63.3月)

第4回 東京国際研修センター (63.3月)

以上の3研修センター、1支部において、教材開発担当者、日本語講師、日本語担当職員等の参加を得て、開発教材、日本語研修の現状と問題点、指導法等について発表、討議を行なった。

ニューズレター

日本語研修及び教材の最も効果的なあり方について、各研修センター、支部、日本語講師間及び教材開発担当者間で共通認識を得る目的で年4回各200部を発行した。



ワークショップ：兵庫インターナショナルセンター於 (62.12月)

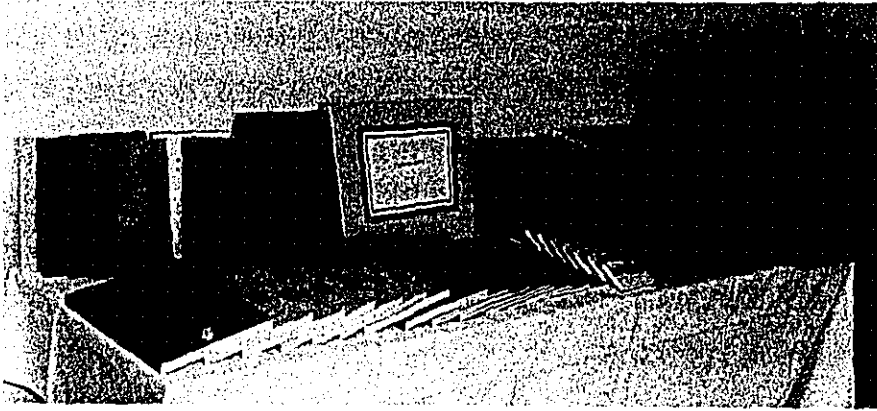
13. 日本語テキスト編纂等専門部会の開催

教材開発事業の円滑な実施のため、年3回(第45～第47回)開催し、本年度開発教材等について検討し具体的方針、内容を定めた。

14. 日本語合同研究会の開催

従来、合同検討会として、教材開発事業に関する説明、開発教材についての使用レポート等中心に検討する場であったが、今年度より日本語研修に関わる各研修センター、支部の日本語講師間の研究発表、意見交換、研究授業、

専門家による講演等を通じて、各講師の研究、研修の場として62年11月と63年3月の2回にわたり実施した。



JICA 日本語開発テキスト

(8) レクリエーション

レクリエーション活動の果たす役割は、研修員の滞日生活の充実化及び日本に対する理解を深める一助としてのみならず、技術研修の修得を容易ならしめる潤滑油として、きわめて重要な要素を持つと思われる。

62年度に実施した行事を内容別にスポーツ、文化、娯楽、懇親会・交流会、そのほか等に分け、次のように詳述する。なお、下表はその一覧表である。

62年度厚生生活活動実績

No	実施日時	行 事 名	実 施 場 所	参加人数 ()内研修員数
1.	毎月	Do Sports Plaza施設の利用	暗海又は新宿の Do Sports Plaza	1回平均 (85)
2.	毎週土曜日及び年 末年始 計58回	サタデー・シアター	TICフリーフィン グ ルーム	1回平均 (50)
3.	毎月第4土曜日 計11回 10:00～12:00	茶道紹介	〃 和室	1回平均 (15)
4.	5月から10月まで計9回 18:00～21:00	テニスの練習	大正セントラルテニス クラブ	1回平均 (4)
5.	4/3(金) 18:30～21:00	地域住民との懇親会	TIC講堂	700 (335)
6.	4/22(水)～5/6(水)	五月節句飾り	〃 食堂	
7.	4/24(金) 19:30～22:00	フィルム・ショー 「ウエディング」	〃 講堂	130 (120)
8.	5/15(金) 18:30～21:30	ディスコ・パーティ	〃 食堂	400 (380)
9.	5/23(金) 12:00～16:00	文楽観賞会	国立劇場	23 (21)
10.	6/5(金) 19:30～21:30	フィルム・ショー 「男はつらいよ／柴又より愛をこめて」	TIC講堂	200 (190)
11.	6/6(土) 10:00～16:30	JICA国際親善サッカー大会	八王子市民運動場	24 (20)
12.	6/13(土) 11:00～15:00	日本料理講習会 (天ぷら、茶碗蒸し、かやくご飯)	千駄ヶ谷社会教育館	37 (22)
13.	6/27(土) 7:30～21:00	ディズニーランド・ツアー	東京ディズニーランド	210 (208)
14.	7/3(金)～7/8(水)	七夕飾り	TICロビーフロント	
15.	7/11(土) 9:30～13:30	バレーボール大会	TIC体育館	41 (30)
16.	7/17(金) 19:30～22:00	フィルム・ショー 「9時から5時まで」	〃 講堂	250 (240)
17.	7/31(金) 19:00～21:00	ちぎり絵クラス	〃 フリーフィン グ ルーム	70 (50)
18.	8/14(金) 19:30～22:00	フィルム・ショー 「オクトパシー007」	TICオリエンテーシ ョン ルーム	180 (175)
19.	8/28(金) 19:00～21:00	レーザー・ディスク・コンサート/ 「マドンナ」「マイケル・ジャクソン」	〃	200 (190)
20.	9/4(金) 19:30～22:00	フィルム・ショー 「ローマの休日」	〃	100 (90)
21.	9/18(金) 18:30～21:30	ディスコ・パーティー	〃 食堂	500 (470)

No.	実施日時	行 事 名	実 施 場 所	参加人数 ()内研修員数
22.	9/26(土) 7:30~21:00	ディズニーランド・ツアー	東京ディズニーランド	297 (294)
23.	10/9(金) 19:30~22:00	フィルム・ショー 「男はつらいよ／寅次郎かもめ歌」	TIC講堂	80 (75)
24.	10/16(金) 19:00~21:30	ディスコ・パーティー	”	420 (390)
25.	10/17(土) 12:00~16:00	歌舞伎観賞会	国立劇場	50 (49)
26.	10/30(金) 19:00~21:00	着物ショーと邦楽演奏会	TIC講堂	320 (300)
27.	11/6(金) 19:30~22:00	フィルム・ショー 「愛と喝采の日々」	” オリエンテーション ルーム	160 (155)
28.	11/13(金) 19:00~21:00	日本武道観賞会	” 体育館	250 (230)
29.	11/21(土) 7:30~21:00	ディズニーランド・ツアー	東京ディズニーランド	293 (290)
30.	12/4(金) 18:30~21:30	研修員の夕べ	TIC講堂	430 (370)
31.	12/11(金) 19:30~21:30	フィルム・ショー 「ネバーエンディング・ストーリー」	” オリエンテーション ルーム	60 (60)
32.	12/19(土) 9:00~13:15	都内半日バス・ツアー	NHKセンター、朝日新聞 社	50 (49)
33.	12/25(金) 19:00~21:00	レーザー・ディスク・コンサート／「ポール・モーリア」 「バーブラ・ストライザンド」	” オリエンテーション ルーム	120 (115)
34.	12/28(月)~1/8(金)	お正月飾り	” 食堂	
35.	12/30(水) 10:00~12:00	餅付き大会	” 中庭	110 (100)
36.	63. 1/8(金) 18:30~20:30	新年親睦パーティー	” 食堂、ラウンジ	400 (300)
37.	1/14(木) 19:30~22:00	フィルム・ショー 「ティファニーで朝食を」	” オリエンテーション ルーム	60 (60)
38.	1/22(金) 18:30~21:30	ディスコ・パーティー	” 食堂	450 (400)
39.	1/30(土) 8:30~13:00	都内半日バス・ツアー	東京証券取引所、朝日新聞 社	44 (43)
40.	2/12(金) 19:30~22:00	フィルム・ショー 「コクーン」	” オリエンテーション ルーム	120 (110)
41.	2/19(金) 19:00~21:00	ちぎり絵クラス	TICフリーフィン グ ルーム	75 (70)
42.	2/22(月)~3/3(木)	三月ひな人形飾り	” 食堂	
43.	2/7(土) 8:30~21:00	ディズニーランド・ツアー	東京ディズニーランド	227 (225)
44.	3/11(金) 19:30~22:00	フィルム・ショー 「ハンナとその姉妹」	TICオリエンテーシ ョン ルーム	70 (70)
45.	3/12(土) 10:00~16:00	歌舞伎観賞会	国立劇場	29 (28)
46.	3/18(金) 18:30~21:30	ディスコ・パーティー	TIC 食堂	400 (350)
47.	3/25(金) 19:00~21:00	ミュージック・サロン/ 「アポロ劇場記念コンサート」 「松田聖子」	” オリエンテーション ルーム	120 (115)

イ. スポーツ

1. センター体育館講堂の利用

種目別に利用日を定め、下記のように実施した。

月曜日	バスケット・ボール
火曜日	バレー・ボール
水曜日	卓球・バドミントン
木曜日	バレー・ボール
金曜日	バスケット・ボール
土曜日	卓球・バドミントン
日曜日	バレー・ボール

ボール等必要用具は、体育館に常備している。

2. ドウ・スポーツ・プラザ施設の利用

TICでできない水泳、アスレチック、サウナ等の施設を有するドウ・スポーツ・プラザと契約を交わし、毎月150枚の利用券を希望者に発給。研修員は有効期間内の好きな時に好きなスポーツを楽しむことが出来る。

3. テニスの練習

本年度より、研修員の要望に応じ、TIC近くのテニスコート（於：初台、大正セントラル・テニス・クラブ）を借上げ5月から10月まで毎月2回18時より21時まで、練習会を実施した。

4. JICA 国際サッカー大会

6月6日（土）JICAサッカー部が中心となり、八王子市民運動場にて、八王子国際研修センター、神奈川国際水産研修センター、筑波インターナショナルセンター及び当研修センターの研修員チームがトーナメント方式でサッカーの技を競った。神奈川国際水産研修センターチームが優勝。

試合終了後は、八王子国際研修センターで懇親会が開かれ、普段接することがむずかし、各センターの研修員の交流、親睦がはかられた。

5. バレー・ボール大会

当センター開所後、第3回目のバレーボール大会を7月11日（土）体育館で実施した。

チームを宿泊階ごとに編成した研修員チーム、3チームとTICスタッフチームの計4チームが「The Cows」、「The Bears」、「The Lions」、「The Elephants」のチーム名で、トーナメント方式で、熱戦を繰り広げた。その結果は「The Lions」チームが優勝した。

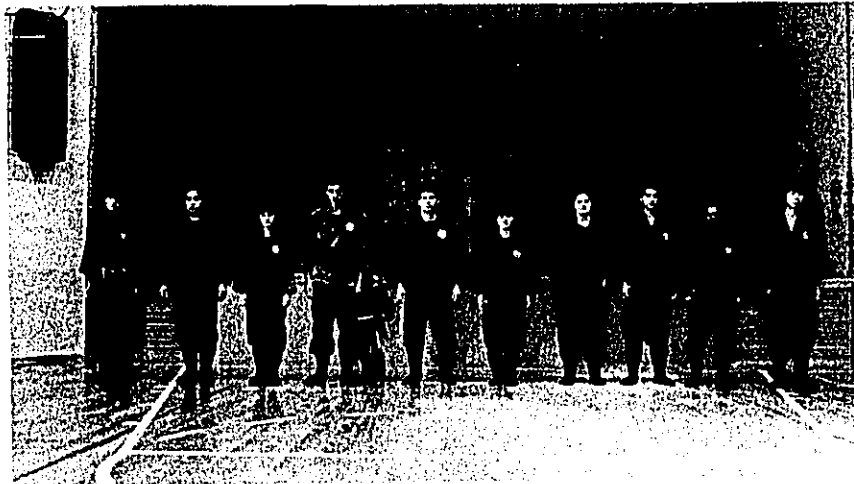
6. 日本武道観賞会

11月13日（金）日本古来の武術を紹介し、日本の伝統的武道の理解を広げ、深めることを目的として、体育館で次のように演武を実施した。

忍 法 —— 玄武館一門

空 手 —— 日本空手協会

居合道 —— 対馬（運輸省）、高荷（TIC）



ロ. 文 化

1. 伝統行事の紹介

① 五月節句飾り

4月22日（水）より、約2週間、銀座ライオンズ・クラブより寄贈された三段飾りを、食堂内に展示した。

② 七夕飾り

7月3日（金）より、5日間飾り付けをした笹竹をロビー正面に飾った。研修員には事前に笹飾りを一緒に作る会を設けたり、短冊に願い事を書いて、飾り付けるように呼びかけたり等参加を呼びかけた。短冊の多くは世界の平和、家族のこと、日本の印象等が書かれていた。

③ お正月飾り

12月28日（月）より、約2週間昨年同様、正面玄関に門松、しめ飾り、おそなえ飾りを、ラウンジには羽子板、破魔弓、大凧を飾り付け、新春の装いを施した。

④ 三月ひな人形飾り

2月22日（月）より、約2週間、銀座ライオンズ・クラブ寄贈の七段飾りひな人形を食堂内に展示し、研修員の目を楽しませた。

2. 茶道の紹介

本年度6月より、当センター内の和室を利用し、日本の文化紹介の一環として、茶道の紹介を毎月1回、原則的には、第4土曜日、10時より約2時間実施した。

裏千家講師西村宗光の指導の下、和菓子と抹茶で、日本のわび、さびの世界を味わった。



3. 日本古典芸能観賞会

本年度より新規に、日本の古典芸能紹介として、希望者を対象に文楽及び歌舞伎の観賞会を国立劇場において、下記のように3回実施した。

- ① 5月23日（土）文楽観賞会「絵本太功記」
- ② 10月17日（土）歌舞伎観賞会「摂州合邦辻」「紙子仕立両面鑑」
- ③ 63年3月12日（土）歌舞伎観賞会「隅田川花御所染」



4. 日本料理講習会

6月13日（土）渋谷区国際交流婦人の会の協力を得て、千駄ヶ谷社会教育館で、研修員に人気があり、又帰国後に自国でも作ることもできるメニューとして「茶碗蒸し」、「天ぷら」、「かやく御飯」を実習した。

試食には、他にサラダ、香の物、デザートが付いて食べきれず、おみやげに持ち帰る研修員も少なくなかった。

5. ちぎり絵クラス

7月31日（金）及び63年2月19日（金）の2回、従来お願いしている日本ちぎり絵スクールより講師を招いて日本固有の和紙を教材として「富士山」「ひまわり」「ひな人形」を楽しみながら一緒に作った。

6. 着物ショーと邦楽演奏会

10月30日（金）講堂において、今年新規に日本の伝統文化紹介として、邦

楽部門は、尺八と琴の演奏を伝統衣裳の着物の紹介として、着物全般の紹介と希望者に対するの試着を行い、大盛況を博した。同時に、研修員の民族衣裳の紹介をかねたショーを実施し、アジア、中米、中近東10ヶ国の研修員が参加し、民族衣裳を披露し、出席者の目を楽しませた。プログラムは次のとおり。

① 尺八と琴の演奏

ジョン・海山・ネプチューン（尺八）

渡辺 泰子（琴）

「千鳥の曲」、「鶴の巣入り」、「春の海」

② 着物ショー

ハクビ京都きもの学院渋谷校

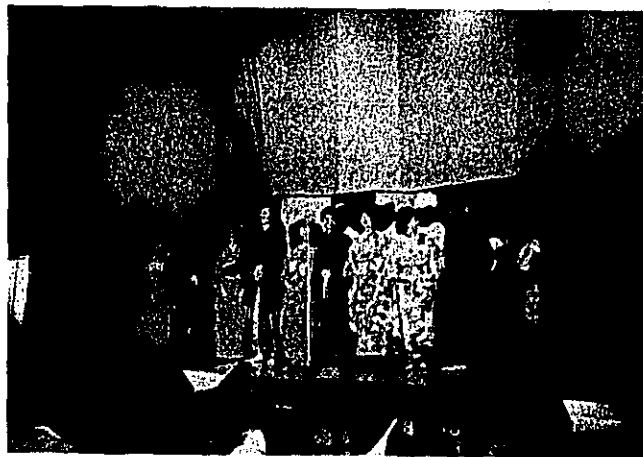
（財）民族衣装文化普及協会

イ. 十二単衣の着付

ロ. フォーマル着物の着付

ハ. 研修員による民族衣裳オンパレード

ニ. ハクビ舞い



ハ. 娯楽

1. サタデー・シアター

毎週土曜日の夜7時より、約2時間ブリーフィング・ルームで日本紹介短編文化映画と、娯楽性の高い洋画を組ませて上映した。1回当りの参加人数は約50人。特に人気が高かった映画は「Commando」、007シリーズものであった。

2. フィルム・ショー

18ミリ又は35ミリのレンタル映画フィルムを借りて、講堂又は、オリエンテーション・ルームにて、大体毎月1回の割で上映した。その内で好評だったのは「Nine to Five」、「007 Octopussy」、「Cocoon」であった。

3. ディスコ・パーティー

本年度は5月15日（金）より計5回実施した。

内1回は、会場を講堂に移して、飲み物を主体としたスナック程度であったが、参加者は食事付で食堂で、実施した時と変わらず、多数参加し、盛況であった。

4. レーザー・ディスクによるミュージック・コンサート

オリエンテーション・ルームで、4台のTV受像器を駆使し、レーザー・ディスクによるミュージック・コンサートを3回下記のように実施した。

- ① 8月28日（金）「マドンナ」、「マイケル・ジャクソン」
- ② 12月25日（金）「ポール・モーリア」、「バーブラ・ストライザンド」
- ③ 63年3月25日（金） ミュージック・サロンと名称を変更する。
「スティービー・ワンダー&ダイアナ・ロス」
「松田聖子」

5. 東京ディズニーランド・ツアー

昨年度より開始し、人気度が最も高い行事の一つで、研修員のリクエストも強く、本年度は回数を増やし6月27日（土）より、計4回実施した。

TICより、ディズニーランドまで、片道送りのバスを用意し、入園後は、自由解散という方法をとった。

通算約1,000人の研修員が楽しんだ。

6. 都内半日バス・ツアー

本年度の新しい試みとして、12月19日（土）及び63年1月30日（土）の2回、日本の最新技術及び情報紹介の一環として、朝日新聞社に、NHK放送

センター又は、東京証券取引所を組ませて、土曜午前の見学ツアーを実施した。2回とも、好評で、計92人の研修員が参加した。



7. ビデオ・テープ等の貸出し

TIC内施設（オーディオ・ルーム、ビデオ・ルーム）における視聴覚用として、希望者に対し、ビデオ・テープ及びミュージック用品（テープ、CD）の貸出しを行った。

ニ. 懇親会・交流会

1. 地域住民との懇親会

4月3日（金）前年度同様TIC前庭の桜並木が美しくなるの見計らい、地域住民を招待して、研修員との交流をはかった。前回は好評で大入り満員であったことを考慮し、今回は町会毎に招待者数を制限して招待したにも拘らず、全体で約700人参加し、会場の講堂は立錐の余地もないほどであった。このことは、地域住民の当センターに対する感心度の強さを示すものと思われる。

当会の後半は、招待日本人と研修員が交互に歌又は踊りを披露し、盛り上がりを見せた。

2. 研修員の夕べ

12月4日（金）食堂で歓談後、講堂において15ヶ国約130人の研修員が国ごとにお国自慢の歌と踊りを下記のように披露し、研修員同志の文化交流を

促進した。

- ① ネパール (1人) 踊りと歌 「Rato Bhale」他
- ② ビルマ (3人) 踊り 「Thingyangmoe」
- ③ 中国 (25人) 歌 中国の歌他
- ④ インドネシア (14人) 踊りと歌 「Medley of Indonesian Songs」
- ⑤ 韓国 (11人) 踊りと歌 「Koegina Chingchungane」他
- ⑥ モーリシアス&セイシェル (2人) 踊り 「Sega」
- ⑦ メキシコ&パラグアイ (10人) 踊りと歌 「La Bamba」他
- ⑧ スリランカ (10人) 踊りと歌 「Kandyan Dance」他
- ⑨ ドミニカ (1人) 歌 「Hello!」他
- ⑩ バングラデシュ (7人) 歌 「Mora Jonjar moto Udom」他
- ⑪ フィリピン (15人) 踊りと歌 「Tinikling」他
- ⑫ マレーシア (12人) 踊りと歌 「Boria」他
- ⑬ タイ (13人) 踊り 「Rongnan」他
- ⑭ エジプト (3人) 歌 エジプトの歌

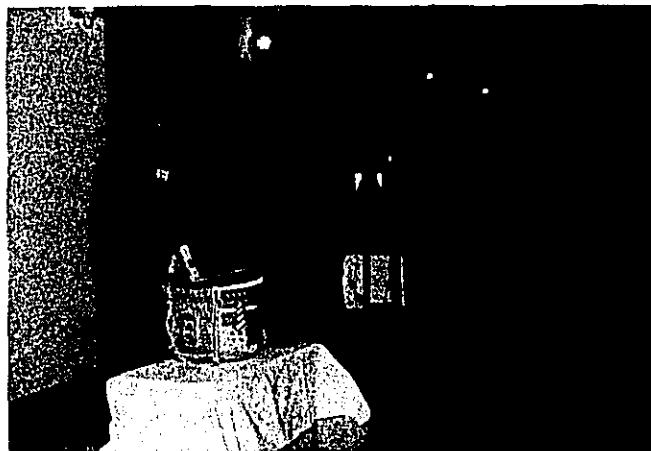
なお、恒例の年末に実施される総裁主催の国際親善パーティーが12月10日(木) ホテル・ニューオータニで開催されたが、研修員のアトラクションに、上記プログラムより、インドネシア、モーリシアス&セイシェル、メキシコ&パラグアイ、スリランカ、フィリピン、マレーシア、タイの7グループが出演した。



3. 新年親善パーティー

63年1月8日（金）新春を迎え、研修員と日頃当センターの事業に協力していただいている日本人関係者、合せて約400人が出席し、新しい年の門出を祝し、かつ親睦を深めた。

今年のパーティーの開始は研修員による鏡開きでスタートし、歓談後は飛び入りの余興が続出してパーティーが一層盛り上がった。



ホ. ライブラリー

1. 図書、雑誌類の閲覧

日本関係の書籍及び各種雑誌の閲覧は、図書室で見ることができるが、希望者に対してはフロントを通して貸出しをした。

2. ビデオ・テープの貸出し

日本関係のビデオ・テープ（主に英語、一部仏語、西語、中国語、インドネシア語、アラビア語）約160本を希望者にフロントを通して貸出しをした。

へ. TIC Monthlyの発行

8月より、従来の「TIC Information Leaf」の名称を「TIC Monthly」と改め、装丁、内容的にも若干、改訂して、新たな装いでスタートした。

本誌の発行目的は、在京研修員を対象として、TICの活動、日本の行事習慣等研修員の滞日生活に必要なかつ有益と思われる情報を提供するとうことで毎月1回発

行、配布した。発行部数は在京研修員の数により変動するが、平均月約1,000部。

ト. 外部団体の招待等

外部団体の招待で、当センターの研修員が参加した主な行事は次表のとおりである。当センターの存在も設立語3年を迎え、かなり外部に浸透し、年々外部団体からの招待件数も増加している状況にある。

62年度外部団体招待行事实績

	行 事 名	実施日時	実施場所	主 催 者	参 加 研修員数
1.	ホーム・ビジット	4/19(日) 18:00~21:00	大来様宅	SRID婦人クラブ	3
2.	”	” 14:00~16:00	原岡様宅	”	2
3.	”	5/31(日) 16:00~20:00	三上様宅	”	6
4.	”	6/20(土) 11:30~15:00	高瀬様宅	”	6
5.	”	9/23(水) 11:00~17:00	清水様宅	”	3
6.	西原町会祭礼	9/23(水) 11:00~	西原町内	西原町会	約100
7.	西原地区運動会	10/10(土) 10:00~16:00	西原小学校	西原小学校	26
8.	ホーム・ビジット	10/24(土) 13:00~16:00	神田様宅	SRID婦人クラブ	3
9.	ミュージカル 「スターライト・エクスプレス」観賞	11/16(月)17(火) 18(日)19(木) 18:30~21:00	国立競技場第一体育館 ”	フジテレビ ”	80
10.	ホーム・ビジット	11/28(土) 12:00~	奈須様宅	SRID婦人クラブ	3
11.	”	12/19(土) 16:00~	佐藤様宅	”	2
12.	折り紙パーティ	63. 2/6(土) 13:00~15:00	渋谷区消費者センター	渋谷区国際交流婦人の会	21
13.	琴演奏会	3/6(日) 12:00~13:30	東邦生命ホール	”	8
14.	ホーム・ビジット	3/20(日) 16:00~	小林様宅	SRID婦人クラブ	10

(9) 昭和 62 年度収支予算実績

(千円)

科 目	金 額	備 考
(収 入)	(449,223)	※ 収入増48,950千円本部振替
(款) 施設利用収入	448,843	※ 内訳は下図参照
(款) 雑 収 入	380	
(支 出)	(1,217,873)	
(款) 海外技術協力事業費	744,328	
(款) 管 理 費	23,949	
(款) 出資金等施設整備費	49,323	
(款) 施設運営費	400,273	

※ 収入 449,223 千円より施設運営費 400,273 千円支出し 48,950 千円本部に収入振替済

※ 施設利用収入の内訳

